フェラーリ330 P4をつくる

Ferrari 330 P4

PACK
6



DeAgostini
COLLECTIBLES

フェラーリ330 P4をつくる

Ferrari 330 P4



CONTENTS

PACK 6

STAGE 21
オイルフィルター、チューブおよびヘッド接続部 —— 81

STAGE 22
リアサスペンション右側のコンポーネント —— 85

STAGE 23
ドライブシャフトとブレーキキャリパー —— 89

STAGE 24
スタビライザー —— 93

STAGE 25
フレーム、配線、コイル本体 —— 97

CENTAURIA

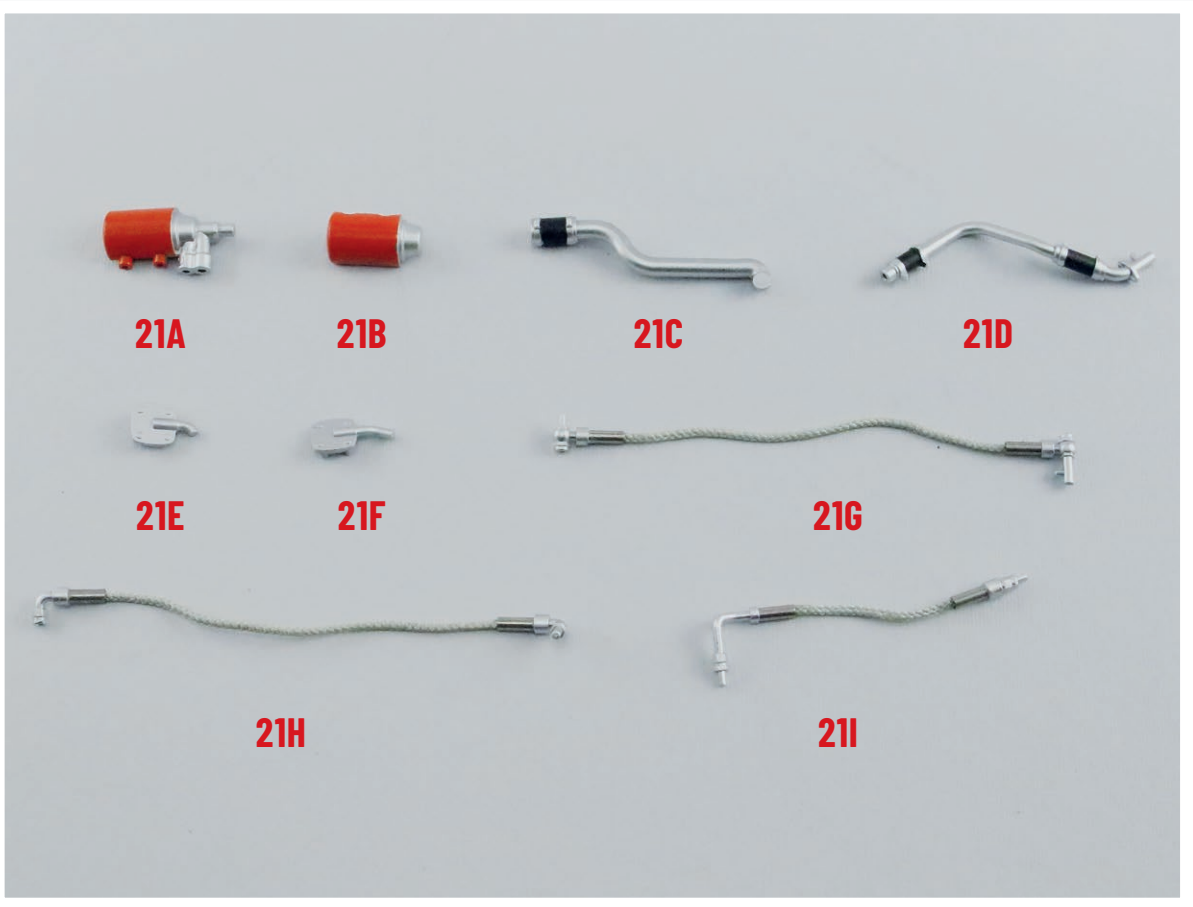
© 2023 Centauria Editore S.r.l. – Via G. Daimler, 1 – 20151 Milano

Produced under license of Ferrari S.p.a. The name FERRARI, the PRANCING HORSE device, all associated logos and distinctive designs, including the design of the Ferrari cars, are property of Ferrari S.p.a.



STAGE 21

オイルフィルター、チューブおよびヘッド接続部



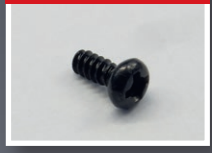
パーツリスト

- 21A オイルフィルター(A)
- 21B オイルフィルター(B)
- 21C スリーブ 1
- 21D スリーブ 2
- 21E ヘッド左接続部
- 21F ヘッド右接続部
- 21G チューブ 1
- 21H チューブ 2
- 21I チューブ 3

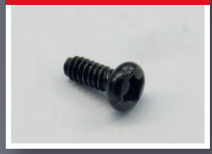
ネジ類

- AP 1.7×4㎜ ネジ2本(+予備)
- AM 1.7×4㎜ ネジ4本(+予備)
- BM 1.7×5㎜ ネジ1本(+予備)

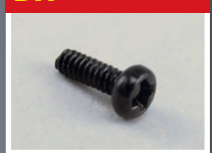
AP ネジ2本



AM ネジ4本



BM ネジ1本

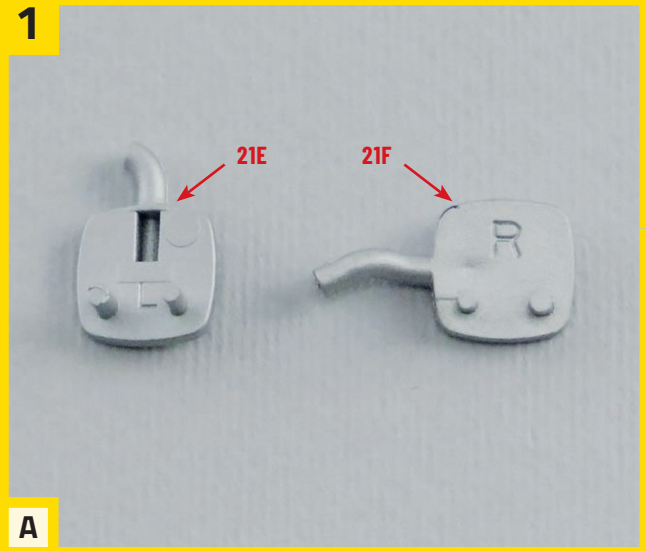


注:「組み立てガイド」に掲載されているパーツの外観は、本シリーズで実際に付属するパーツとは細部が異なる場合があります。

※ネジの本数表記には、予備数は含まれておりません。

Ferrari 330 P4

1

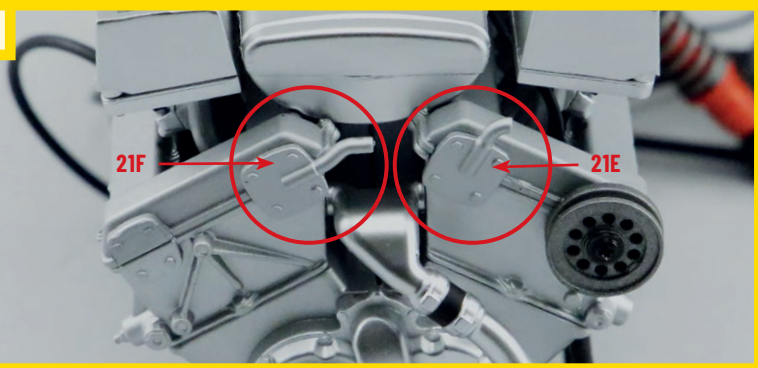


A

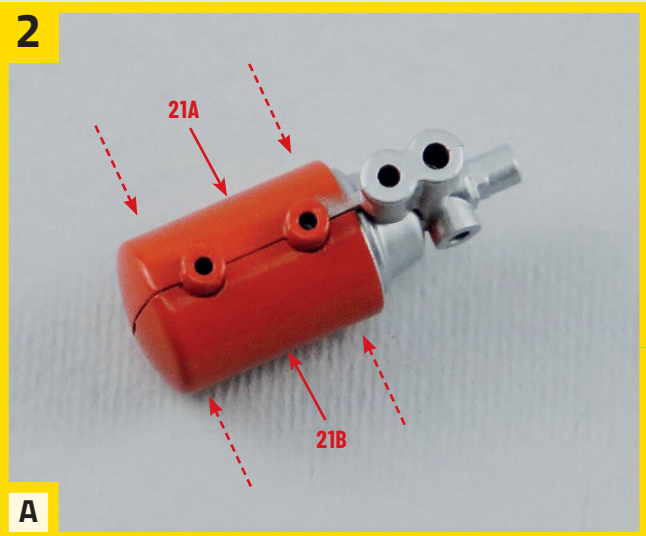
1. **A**：2つのヘッド接続部**21E**と**21F**には、内側にそれぞれ「L」と「R」と印字されている。

B：これまでに組立てたギアボックス・エンジンユニットを用意し、シリンダーヘッド前面に**21F**と**21E**を押し込む。

B



2



A

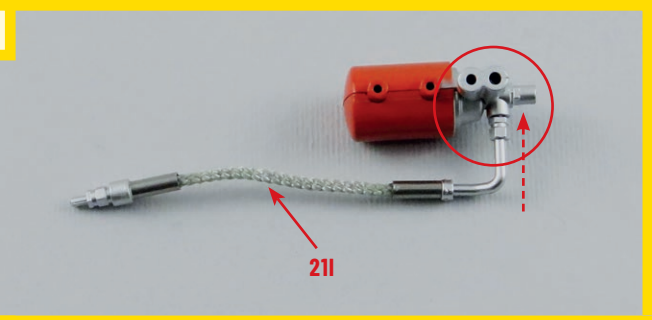
2. **A**：2つのオイルフィルター**21A**と**21B**をかみ合わせる。

B：チューブ1 **21I**のL字型の端をオイルフィルターコック側面の穴に挿入する。

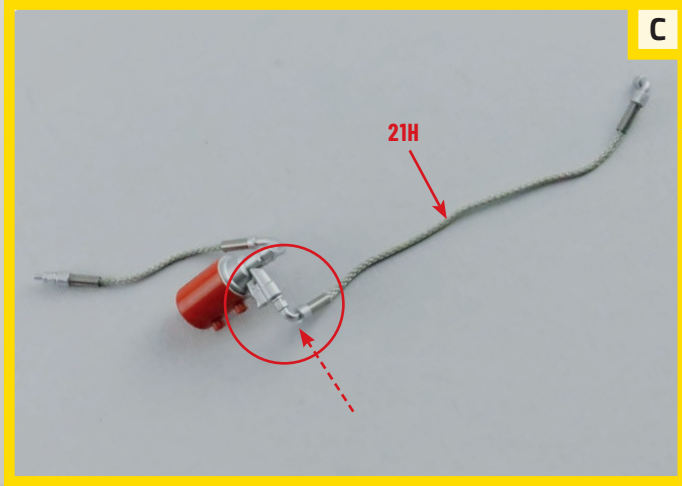
C：チューブ2 **21H**のピン付きL字型の端をオイルフィルターコック上部穴に挿入する。

D：チューブ3 **21G**のピン付きT字型の端をオイルフィルターコックの残りの穴に挿入する。

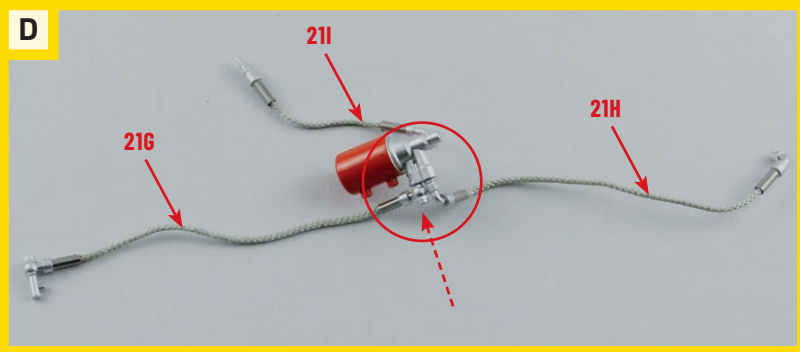
B



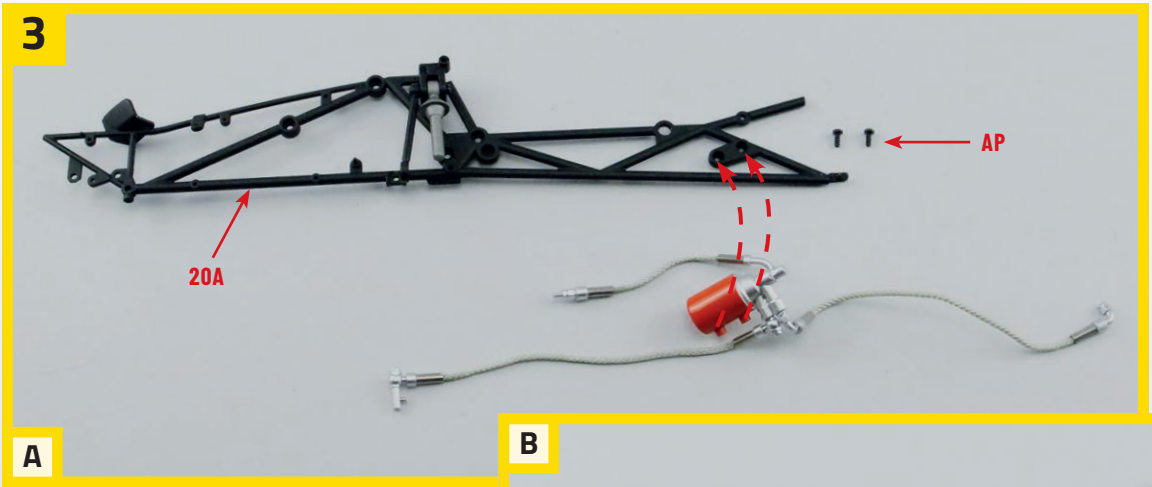
C

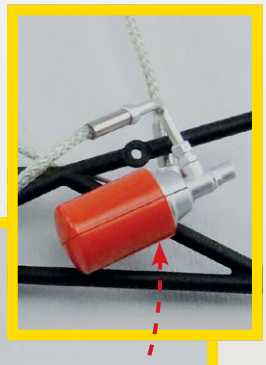


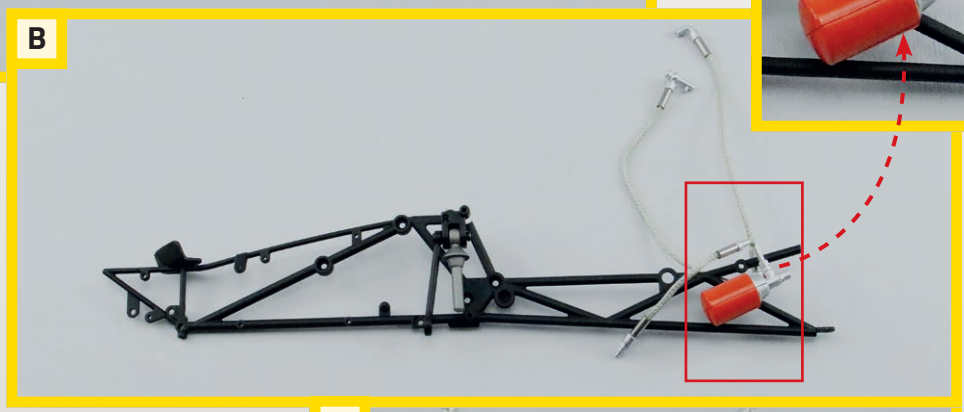
D







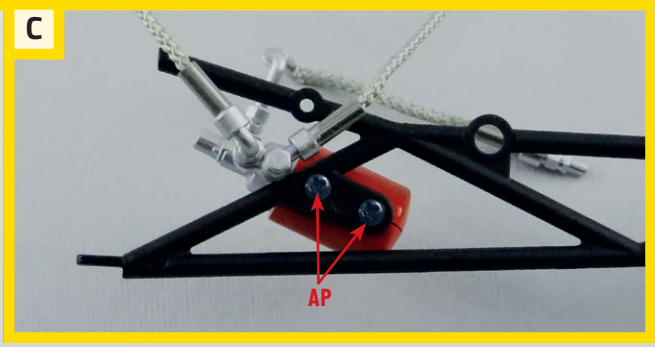


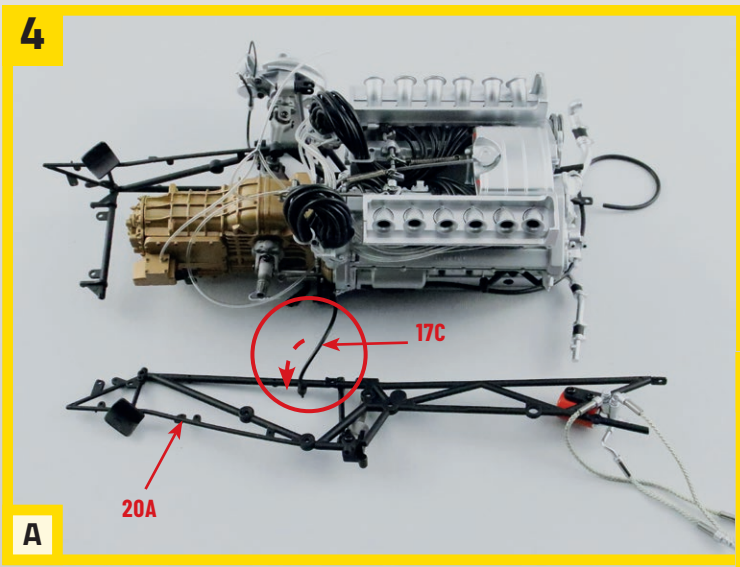


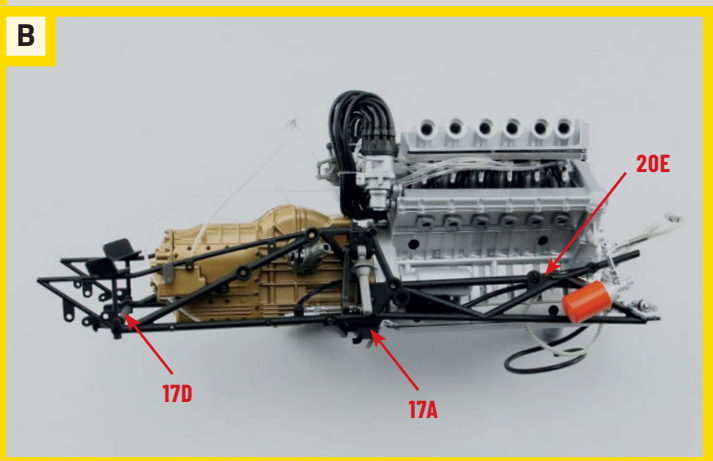
3. **A**：右後部フレーム**20A**を用意する。**STEP2**で組み立てたオイルフィルターを横に置く。

B：写真のようにオイルフィルターを配置し、2本のピンをフレーム前部の穴に挿入する。

C：2本の**AP**ネジで締め付ける。





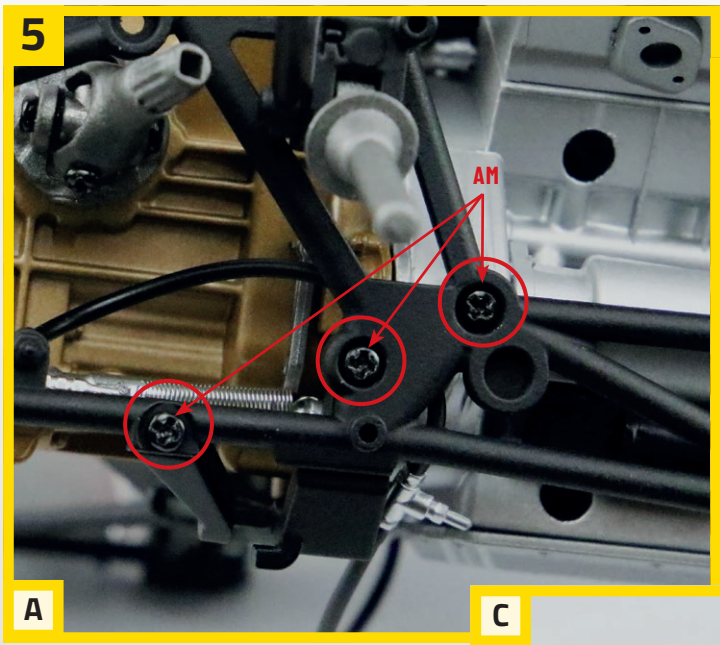


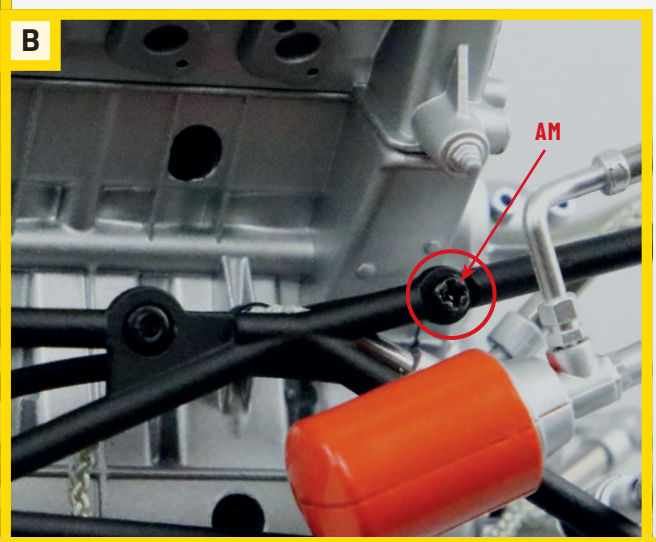
4. **A**：ギアボックス・エンジンユニットの右側に、写真のように**20A**の向きを合わせて置く。ブレーキパイプ**17C**（55㎜）の端を赤丸で示したフレームの突起部に差し込む。

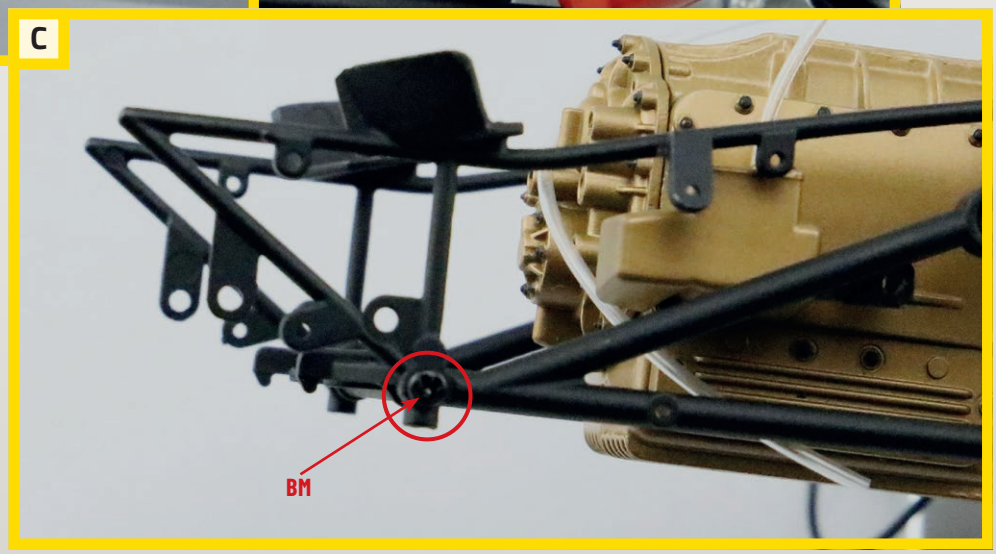
B：フレームを2本のクロスメンバー**17A**と**17D**、エンジンサポート**20E**に正しく合わせる。



5







5.

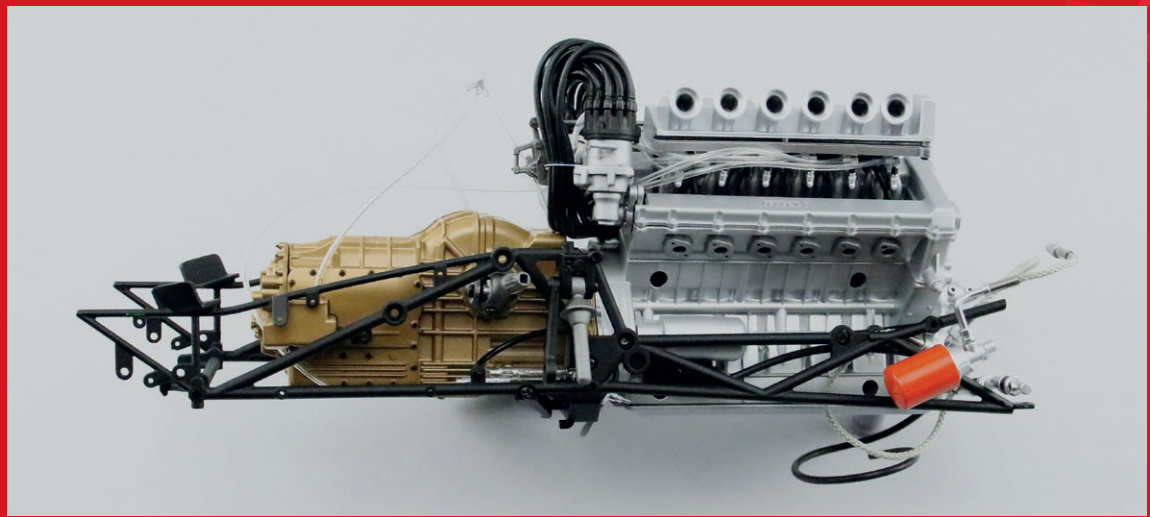
A：写真で示したフレームの3つの穴を、ギアボックス・エンジンユニットとクロスメンバー**17A**の嵌合部に合わせて、まず3本の**AM**ネジで固定する。

B：次に、写真で示したエンジンサポートとフレームの嵌合部を、1本の**AM**ネジで固定する。

C：最後に、クロスメンバー**17D**とフレームの嵌合部を**BM**ネジで固定する。

組み立て結果

※**21C**スリーブ1と**21D**スリーブ2は、次のステージで使用するので、保管しておく。

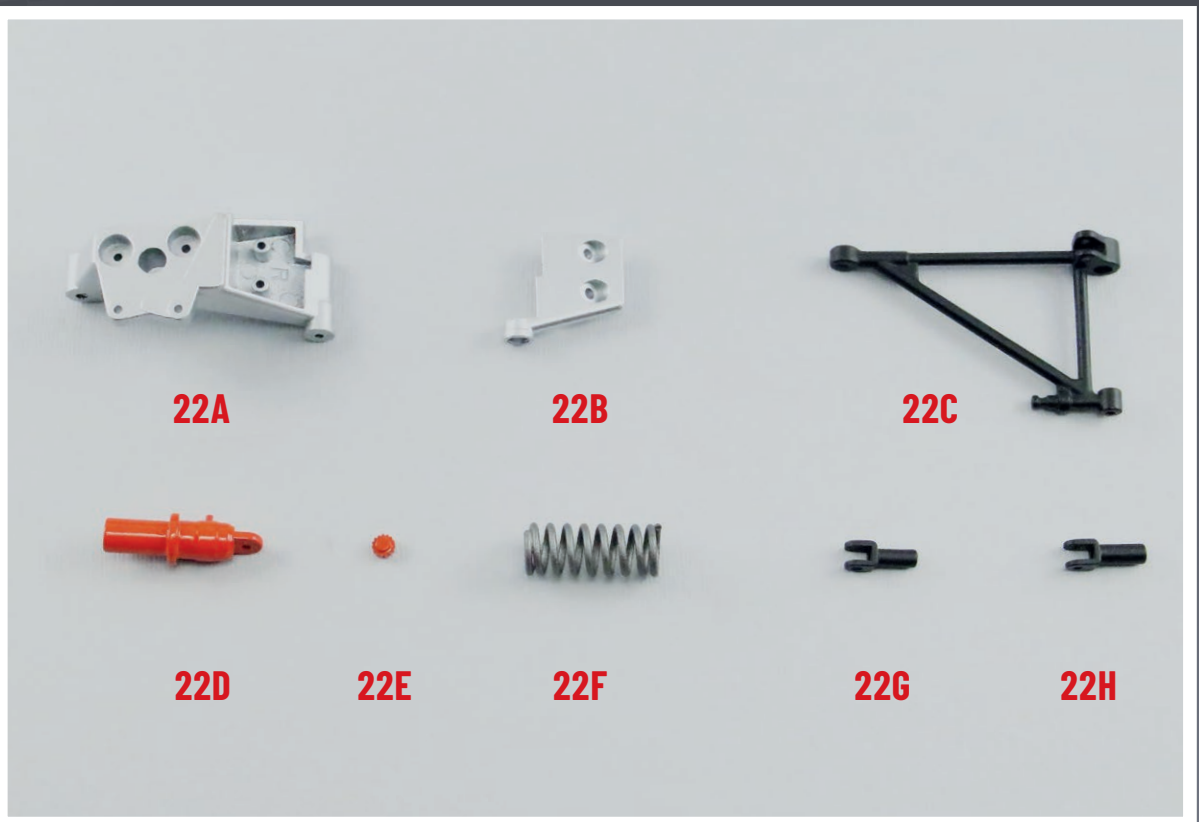


右後部フレームが組み込まれたギアボックス・エンジンユニット。



STAGE 22

リアサスペンション右側のコンポーネント



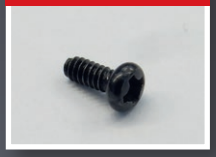
パーツリスト

- 22A リア右側ハブキャリア
- 22B ハブキャリアプレート
- 22C リア右側サスペンション下部トライアングル
- 22D ショックアブソーバー本体
- 22E プリロード調整ノブ
- 22F ショックアブソーバースプリング
- 22G 下部フォーク
- 22H 上部フォーク

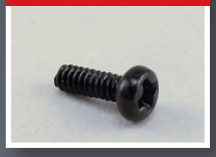
ネジ類

- AM 1.7×4㎜ネジ3本(+予備)
- BM 1.7×5㎜ネジ1本(+予備)
- ABM 1.7×6㎜ネジ1本(+予備)
- ADM 1.7×8㎜ネジ1本(+予備)

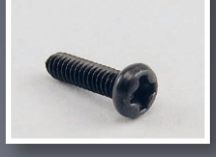
AM ネジ3本



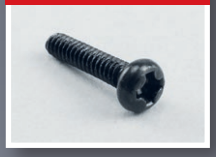
BM ネジ1本



ABM ネジ1本



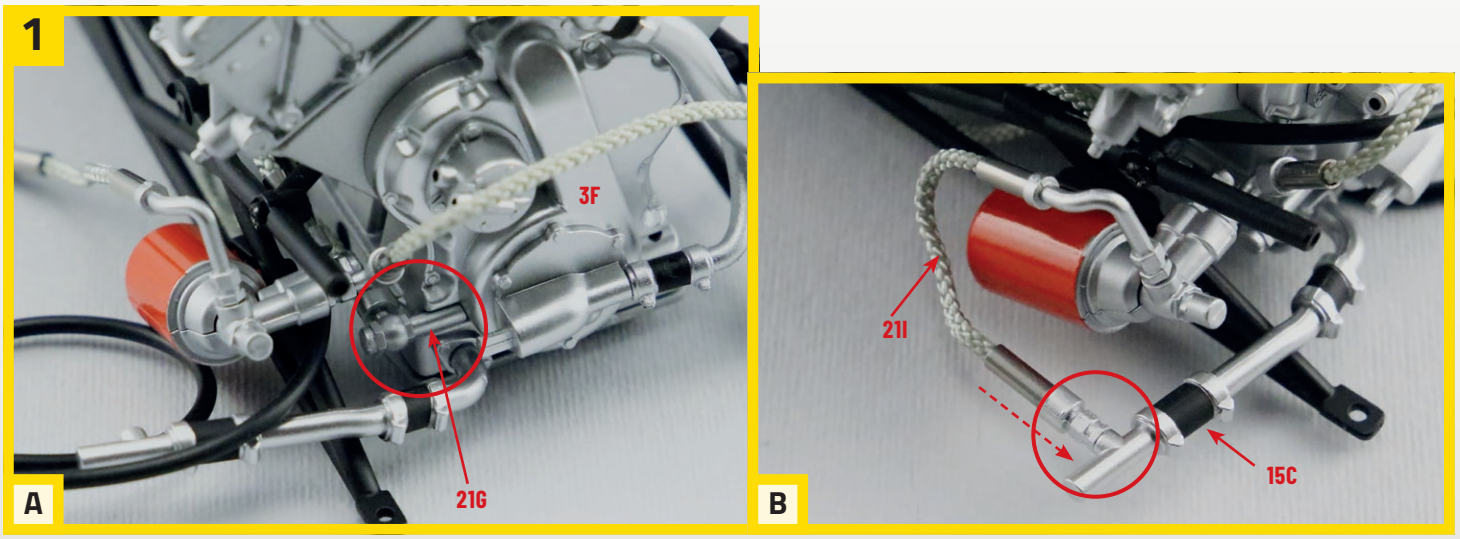
ADM ネジ1本



注:「組み立てガイド」に掲載されているパーツの外観は、本シリーズで実際に付属するパーツとは細部が異なる場合があります。

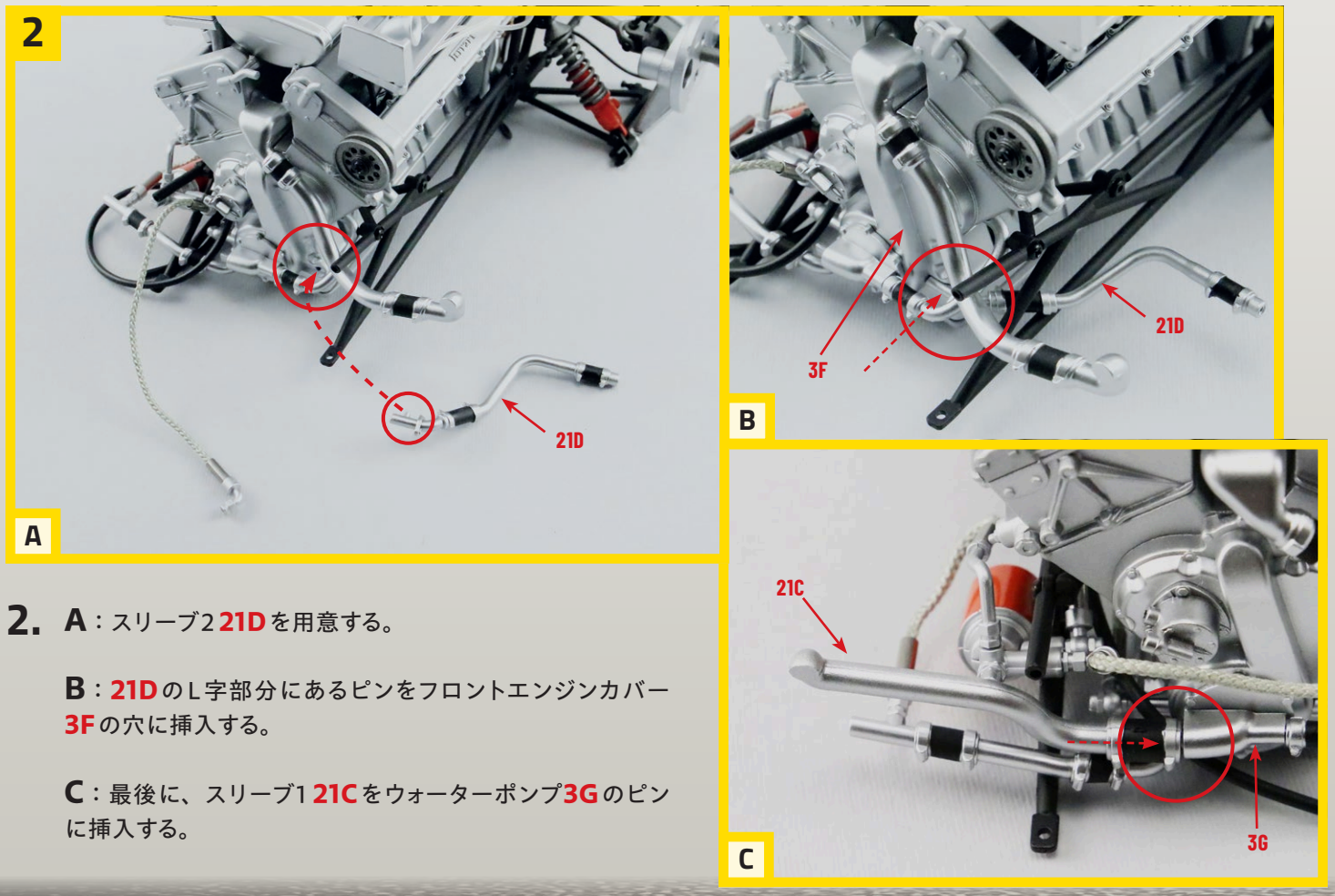
※ネジの本数表記には、予備数は含まれておりません。

Ferrari 330 P4



1. **A**：ギアボックス・エンジンユニットを用意し、ピンセットを使って、チューブ1 **21G** のL字部分にあるピンをフロントエンジンケース**3F** の側面に開いた穴に挿入する。

B：次に、チューブ3 **21I** の先端をスリーブ**15C** の穴に挿入する。



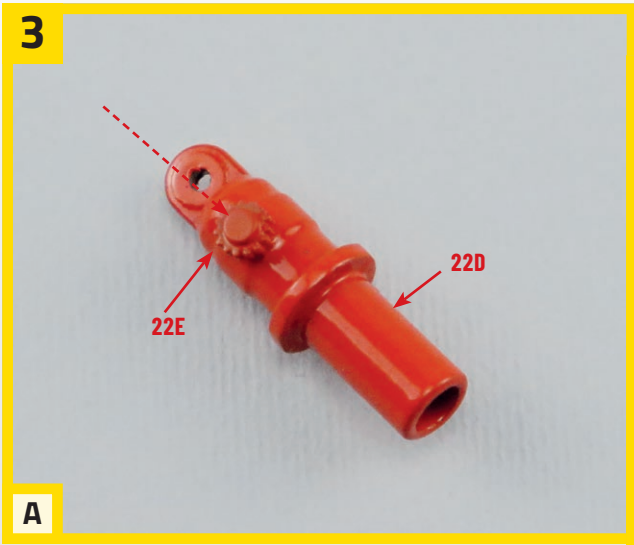
2. **A**：スリーブ2 **21D** を用意する。

B：**21D** のL字部分にあるピンをフロントエンジンカバー**3F** の穴に挿入する。

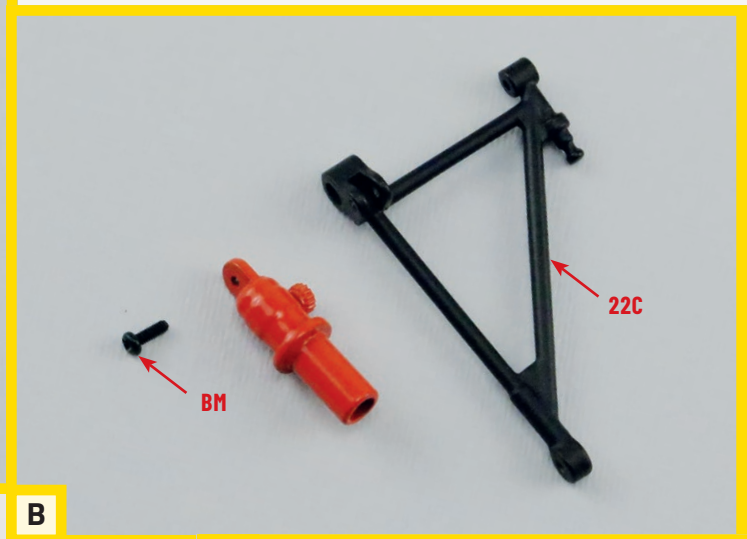
C：最後に、スリーブ1 **21C** をウォーターポンプ**3G** のピンに挿入する。



3



A



B

3. **A**：プリロード調整ノブ**22E**をショックアブソーバー本体**22D**に押し込む。

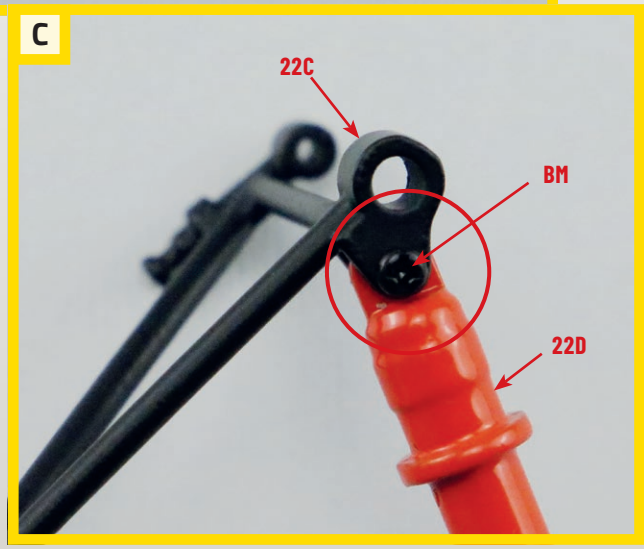
B：次に、リア右側サスペンション下部トライアングル**22C**と**BM**ネジ1本を用意する。

C：**22D**の突起部の穴を**22C**のフォーク部の穴に合わせ、ネジで固定する。

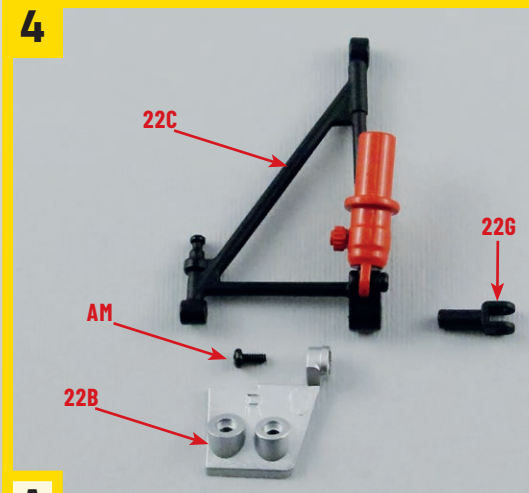
4. **A**：ハブキャリアプレート**22B**、下部フォーク**22G**と**AM**ネジを用意する。

B：**22G**を**22C**の写真で示した穴に差し込み、反対側に**22B**を取り付けたら、**AM**ネジで固定する。

C



4

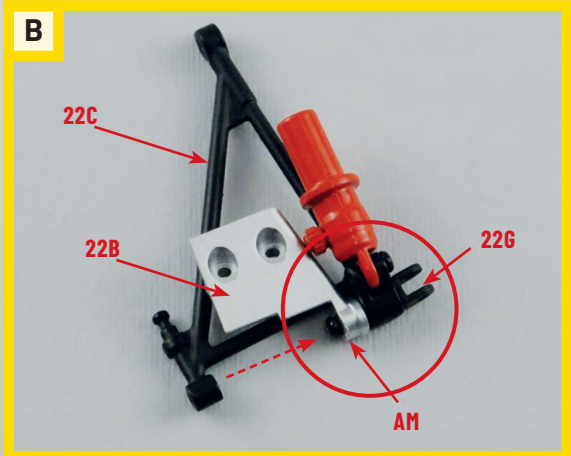




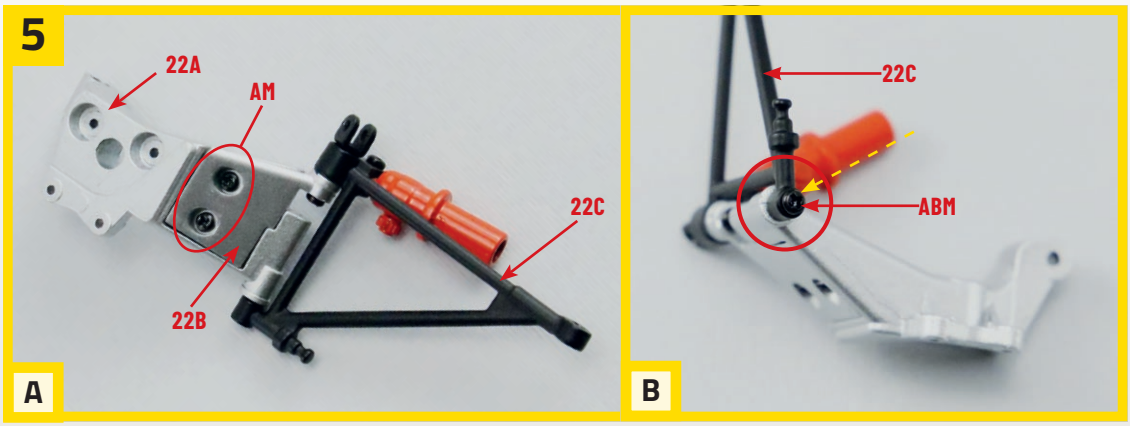
※下部フォーク**22G**の方が上部フォーク**22H**より短い

A

B



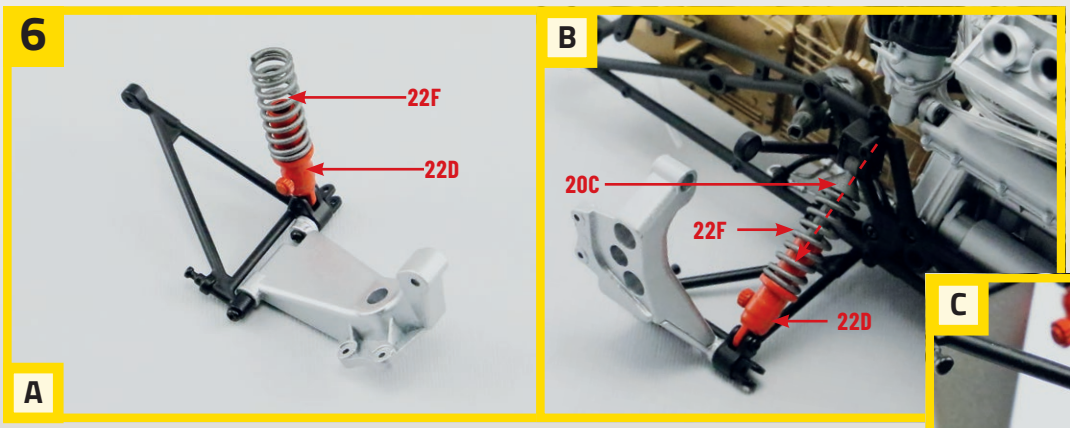


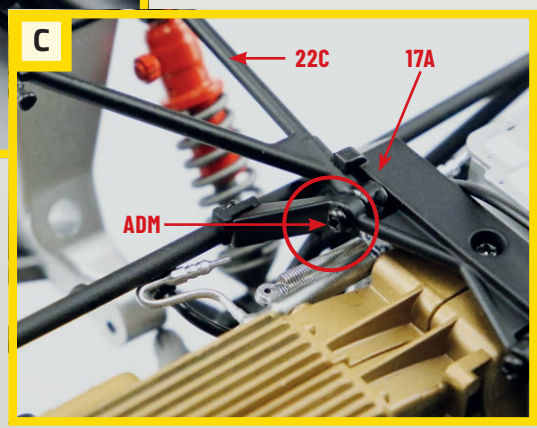


5.

A：リア右側ハブキャリア**22A**を**22B**に組み合わせ、2本の**AM**ネジで固定する。

B：次に、**22A**を**22C**のもう一方の穴に、**ABM**ネジで外側から固定する。





6.

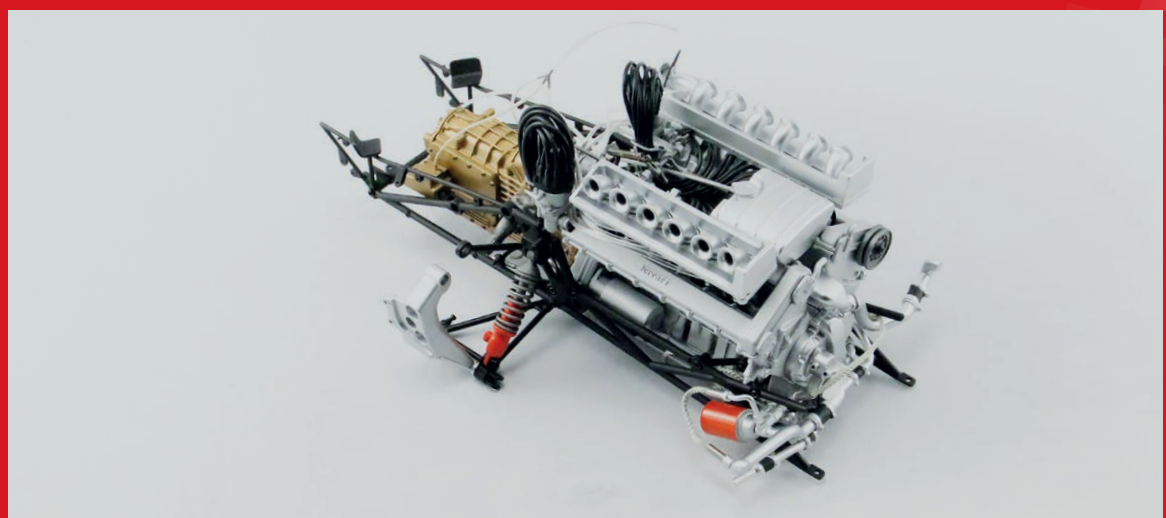
A：**22D**にショックアブソーバースプリング**22F**を取り付ける。

B：次に、ギアボックス・エンジンユニットを用意し、その横に組み立てた右後部サスペンションを置く。**20C**を**22F**と**22D**の内側に挿入する。

C：**22C**の先端の穴を**17A**にはめ込み、**ADM**ネジで固定する。

組み立て結果

※上部フォーク**22H**は、次のステージで使用するので、保管しておく。

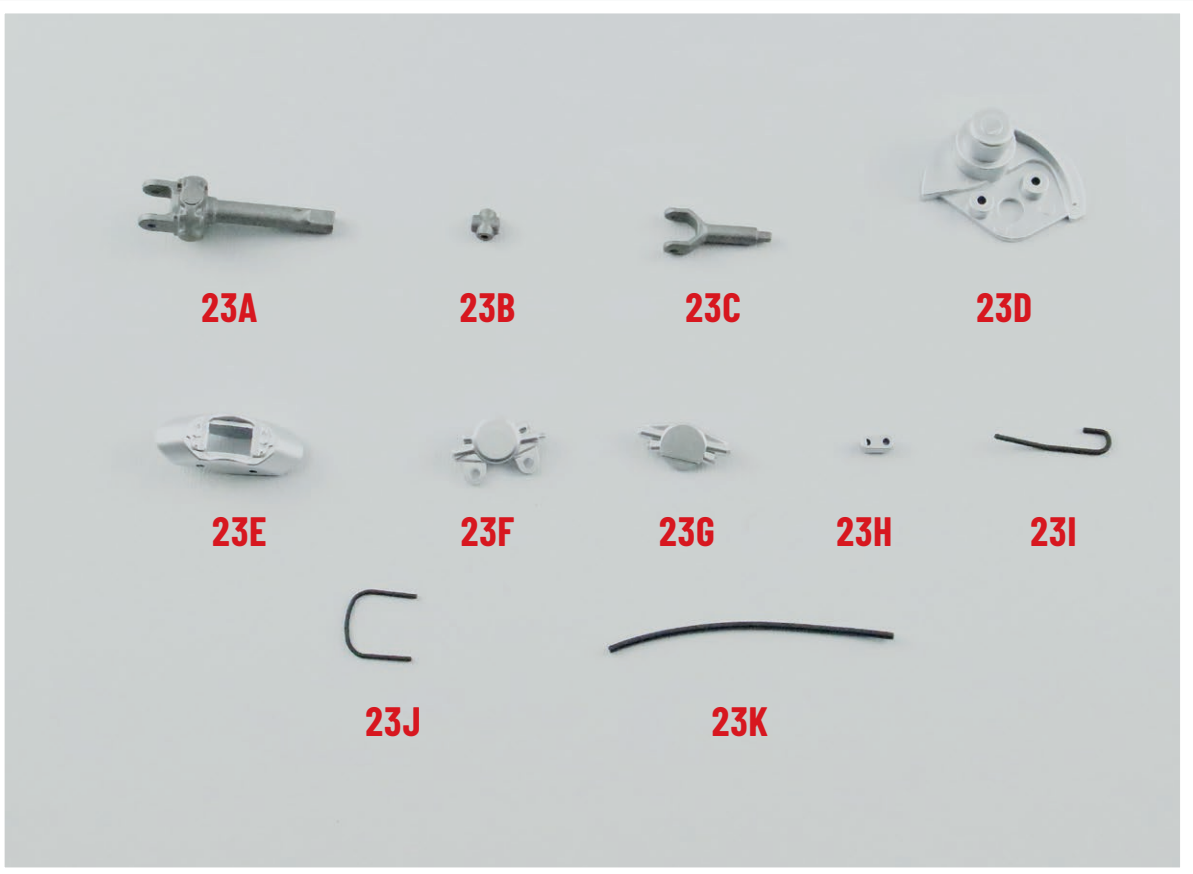


右後部サスペンションを組みこんだギアボックス·エンジンユニット。



STAGE 23

ドライブシャフトとブレーキキャリパー



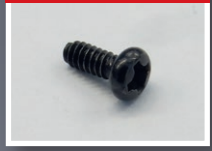
パーツリスト

- 23A ロングドライブシャフト
- 23B ドライブシャフトクロス
- 23C ショートドライブシャフト
- 23D リアブレーキサポートプレート
- 23E ブレーキキャリパーボディ
- 23F ブレーキキャリパーコンポーネント①
- 23G ブレーキキャリパーコンポーネント②
- 23H ブレーキキャリパーチューブサポート
- 23I ブレーキキャリパーチューブ
- 23J ブレーキキャリパーピストン接続チューブ
- 23K ブレーキ油圧システムチューブ

ネジ類

- AM 1.7×4㎜ネジ5本（＋予備）
- SM 1.7×3㎜ネジ4本（＋予備）

AM ネジ5本



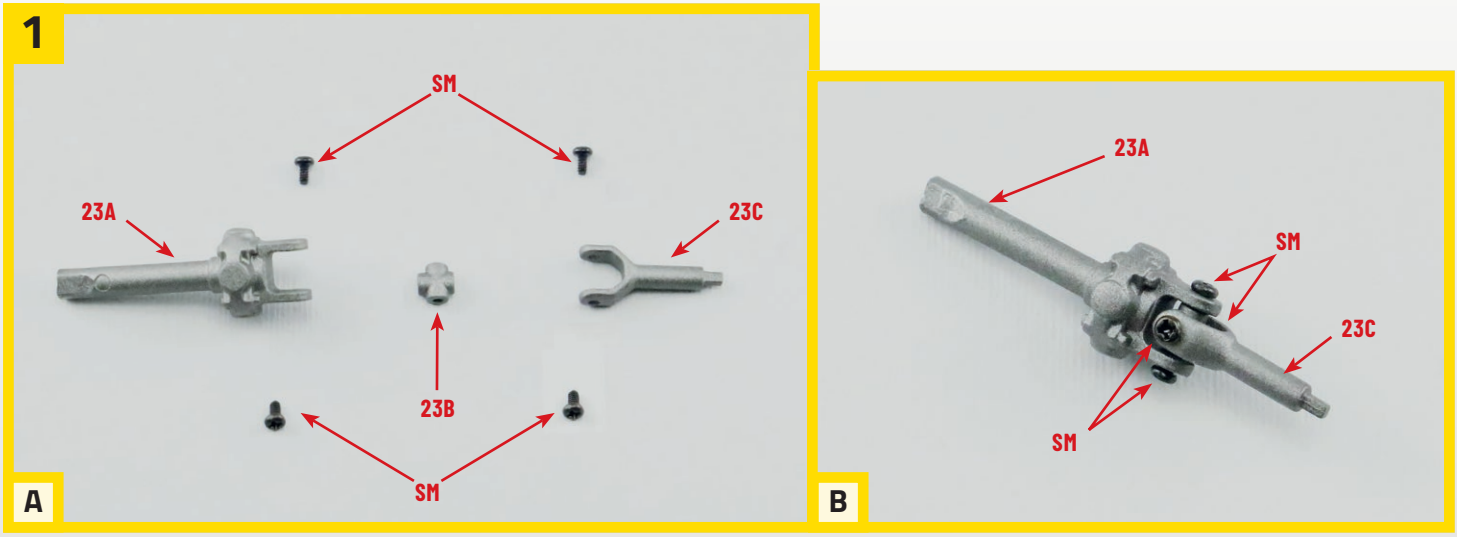
SM ネジ4本



注：「組み立てガイド」に掲載されているパーツの外観は、本シリーズで実際に付属するパーツとは細部が異なる場合があります。

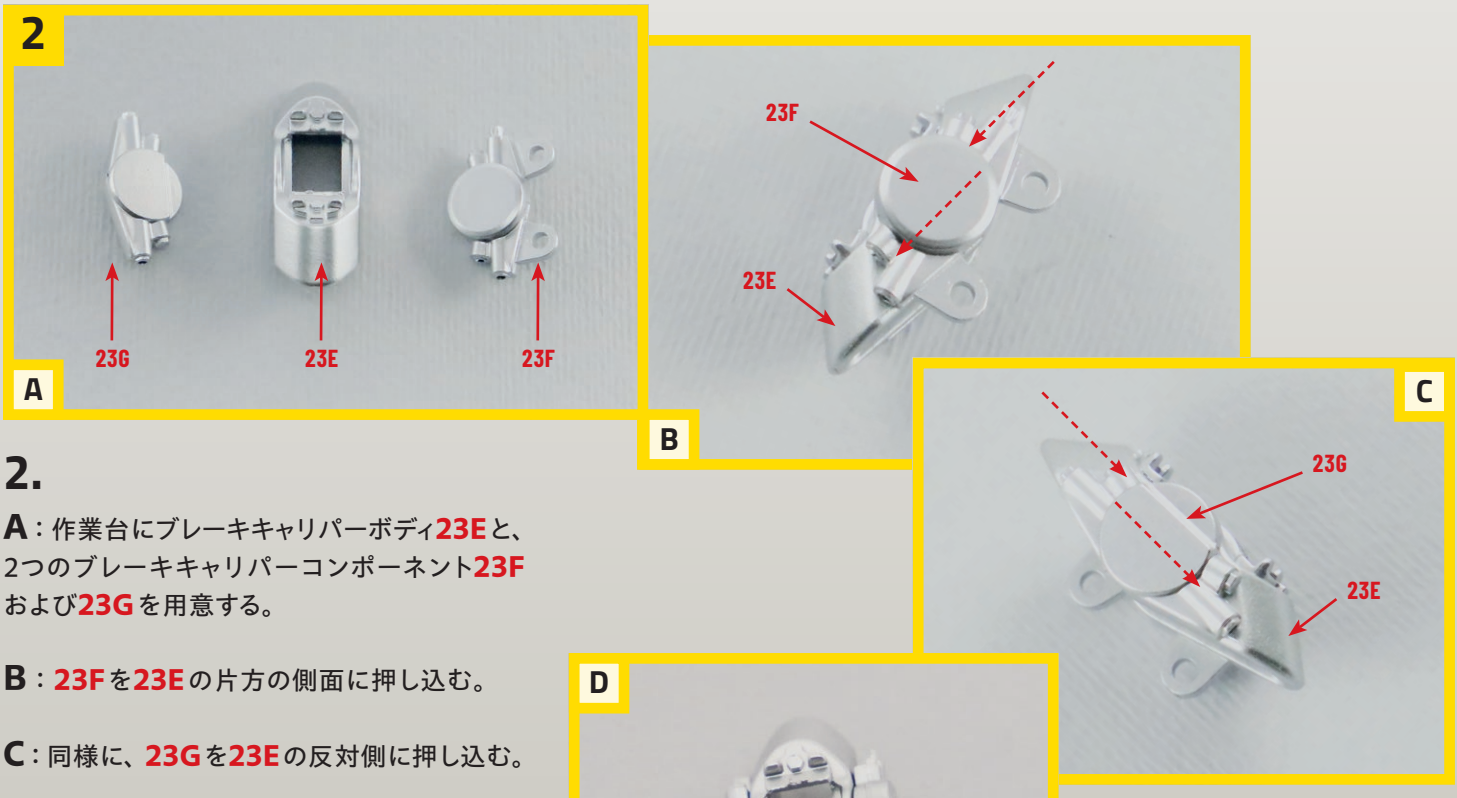
※ネジの本数表記には、予備数は含まれておりません。

Ferrari 330 P4



1. **A**：2本のドライブシャフト（**23A**および**23C**）とドライブシャフトクロス**23B**、**SM**ネジ4本を用意し、写真のように配置する。

B：**23B**を**23A**に挿入し、**SM**ネジ2本で固定する。次に、**23C**を**23B**の穴に合わせ、残りの**SM**ネジ2本で固定する。



2.

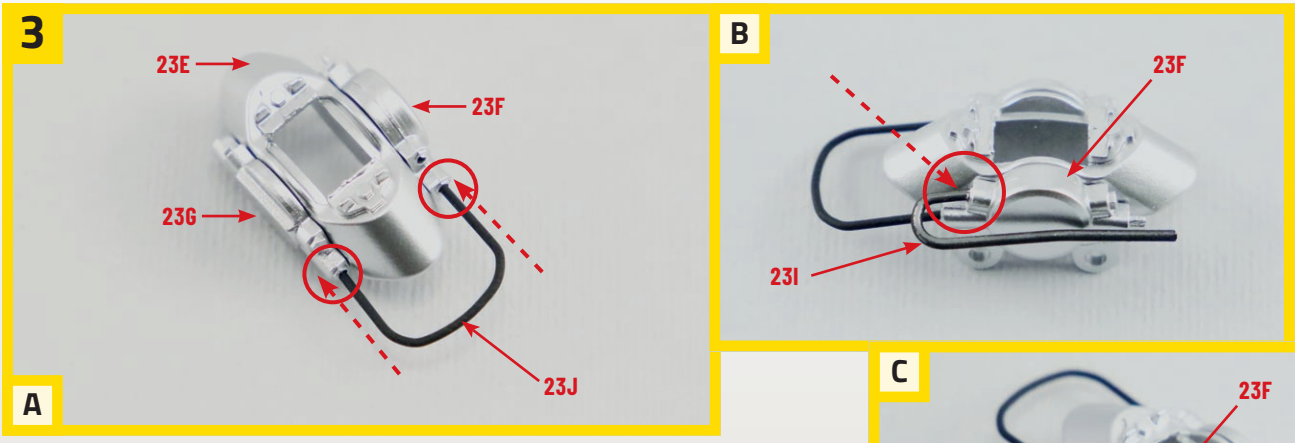
A：作業台にブレーキキャリパーボディ**23E**と、2つのブレーキキャリパーコンポーネント**23F**および**23G**を用意する。

B：**23F**を**23E**の片方の側面に押し込む。

C：同様に、**23G**を**23E**の反対側に押し込む。

D：2つのパーツの穴が同じ側にあることを確認しよう。



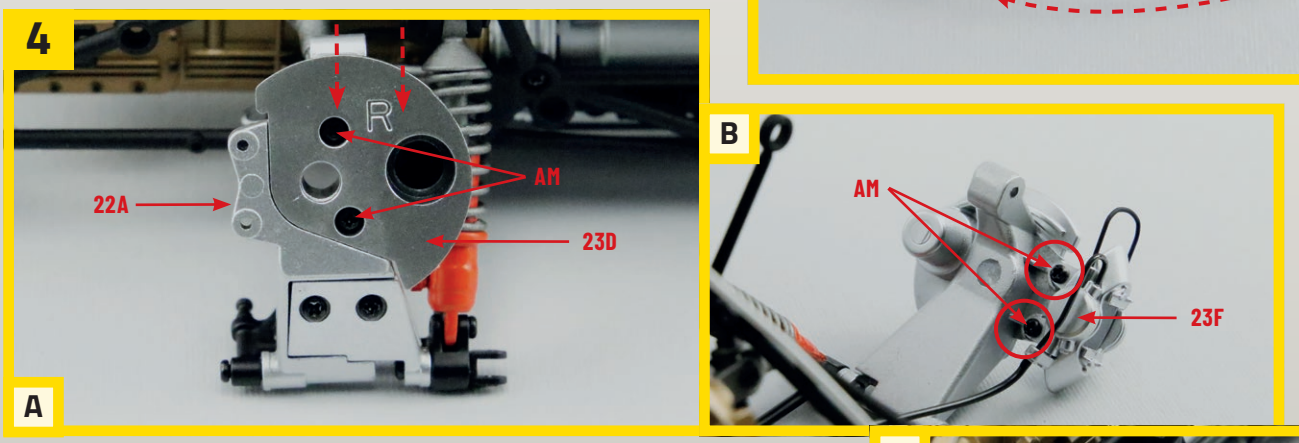


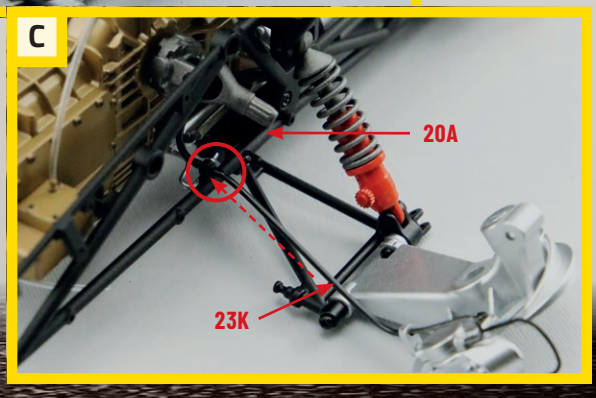
3. **A**：ブレーキキャリパーピストン接続チューブ**23J**を、**STEP2**で組み立てたブレーキキャリパーに取り付ける。チューブの両端を**23F**下部の穴と、**23G**の穴に挿入する。

B：同様に、ブレーキキャリパーチューブ**23I**の短い方の端を、**23F**の空いている穴に挿入する。

C：次に、ブレーキキャリパーチューブサポート**23H**の貫通している穴の方に**23I**の長い方の一端を通し、穴が貫通していない方を**23F**のピンに押し込む。

D：最後に、ブレーキ油圧システムチューブ**23K**を**23I**の先端に取り付ける。



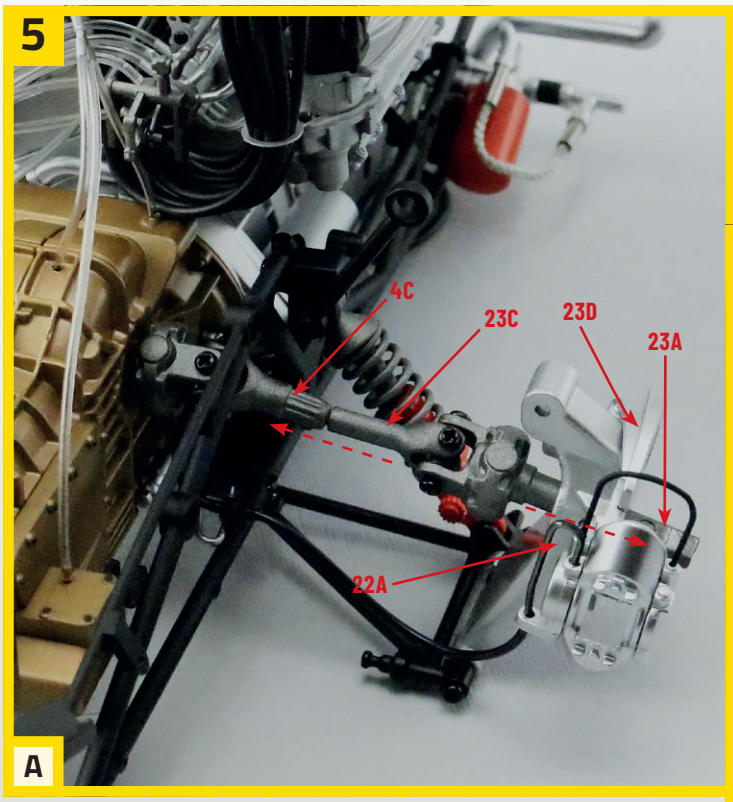


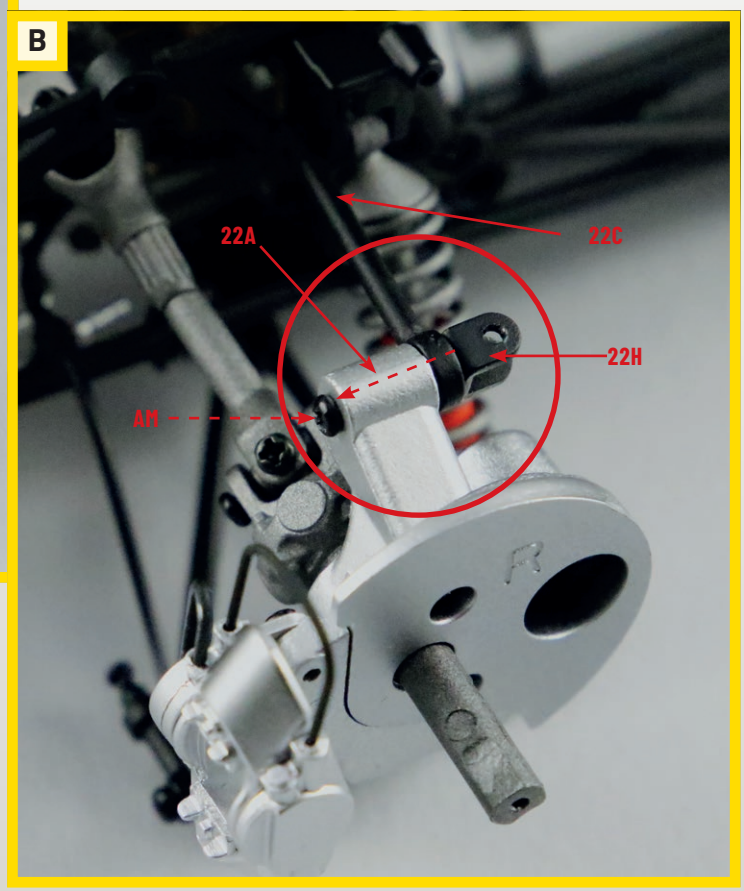
4. **A**：ギアボックス・エンジンユニットを用意し、リアブレーキサポートプレート**23D**をリア右側ハブキャリア**22A**に取り付ける。2本のピンを穴に差し込み、2本の**AM**ネジを締め付ける。

B：ブレーキキャリパーを用意し、**23F**の2つの穴を**22A**の内側に配置し、2本の**AM**ネジで取り付ける。

C：最後に、**23K**の端をリアフレーム左側**20A**に接続する。





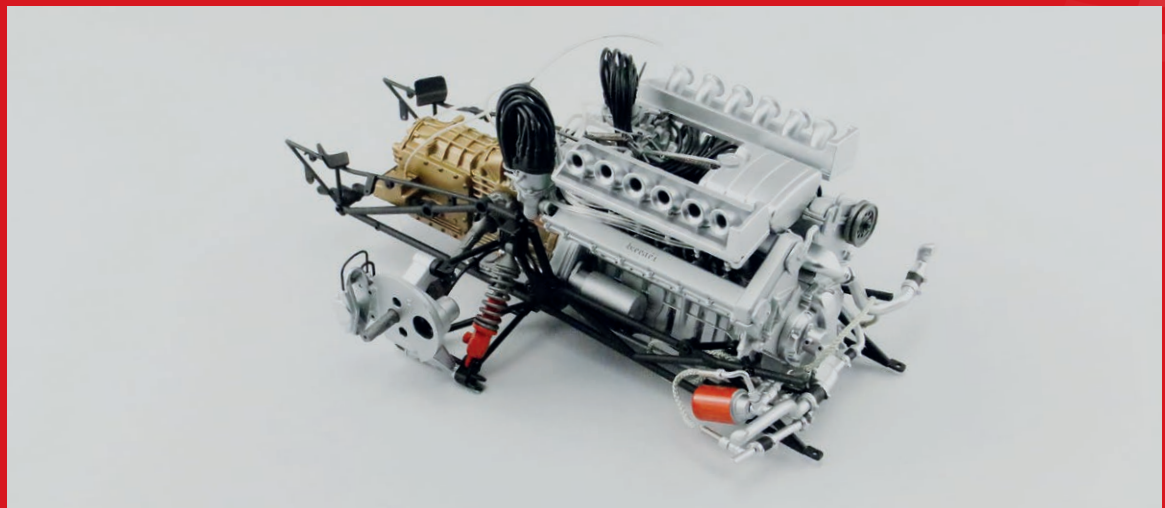


5.

A：**23A**を**22A**および**23D**に挿入し、**23C**を**4C**に接続する。

B：**STAGE22**で保管しておいた上部フォーク**22H**を**22A**の穴に挿入して、**AM**ネジで固定する。

組み立て結果

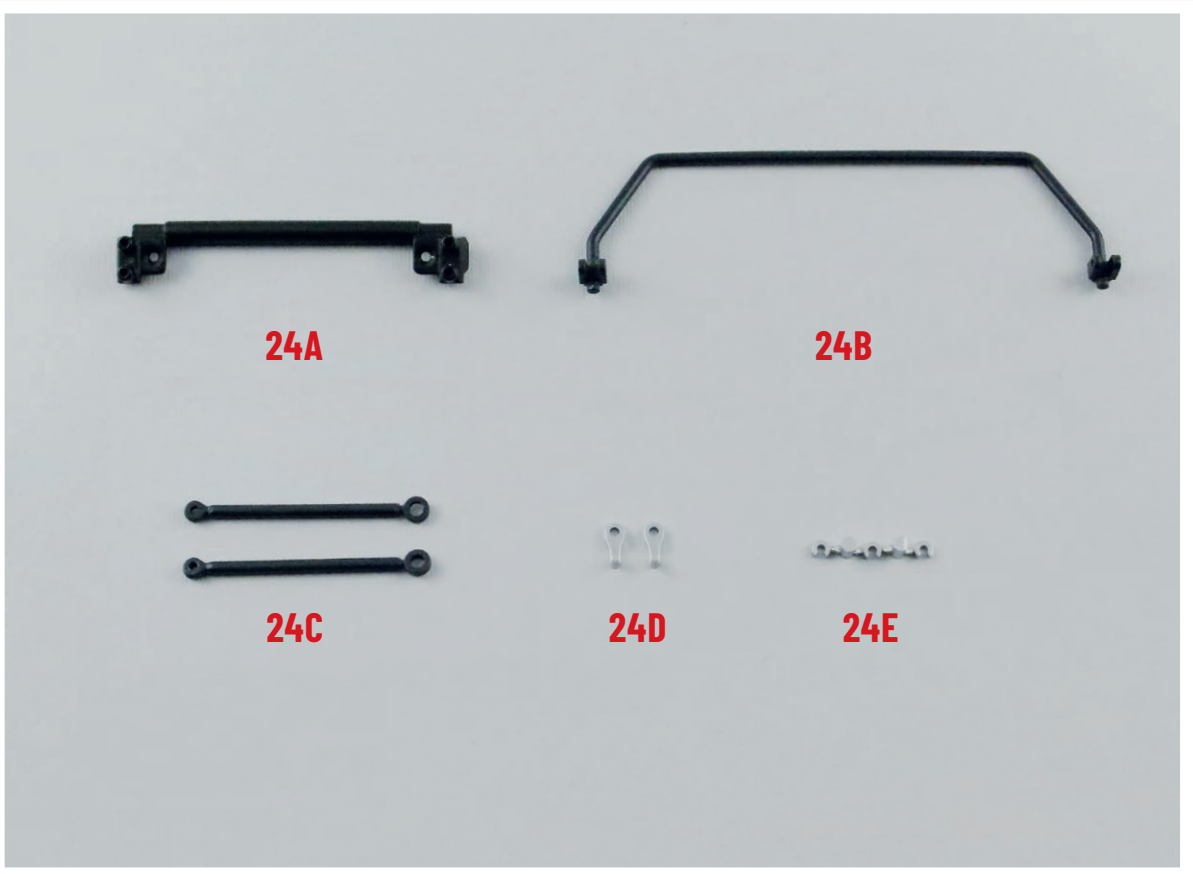


ギアボックス・エンジンユニットがここまで仕上がった。



STAGE
24

スタビライザー



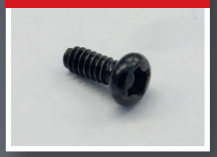
パーツリスト

24A スタビライザーバーサポート
24B スタビライザーバー
24C スタビライザーバーリンク
24D 上部固定具
24E 下部固定クリップ2個(+予備)

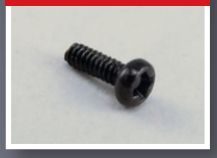
ネジ類

AM 1.7×4㎜ネジ2本(+予備)
BM 1.7×5㎜ネジ2本(+予備)
TM 1.7×4㎜ネジ2本(+予備)

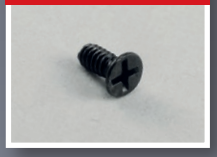
AM ネジ2本



BM ネジ2本



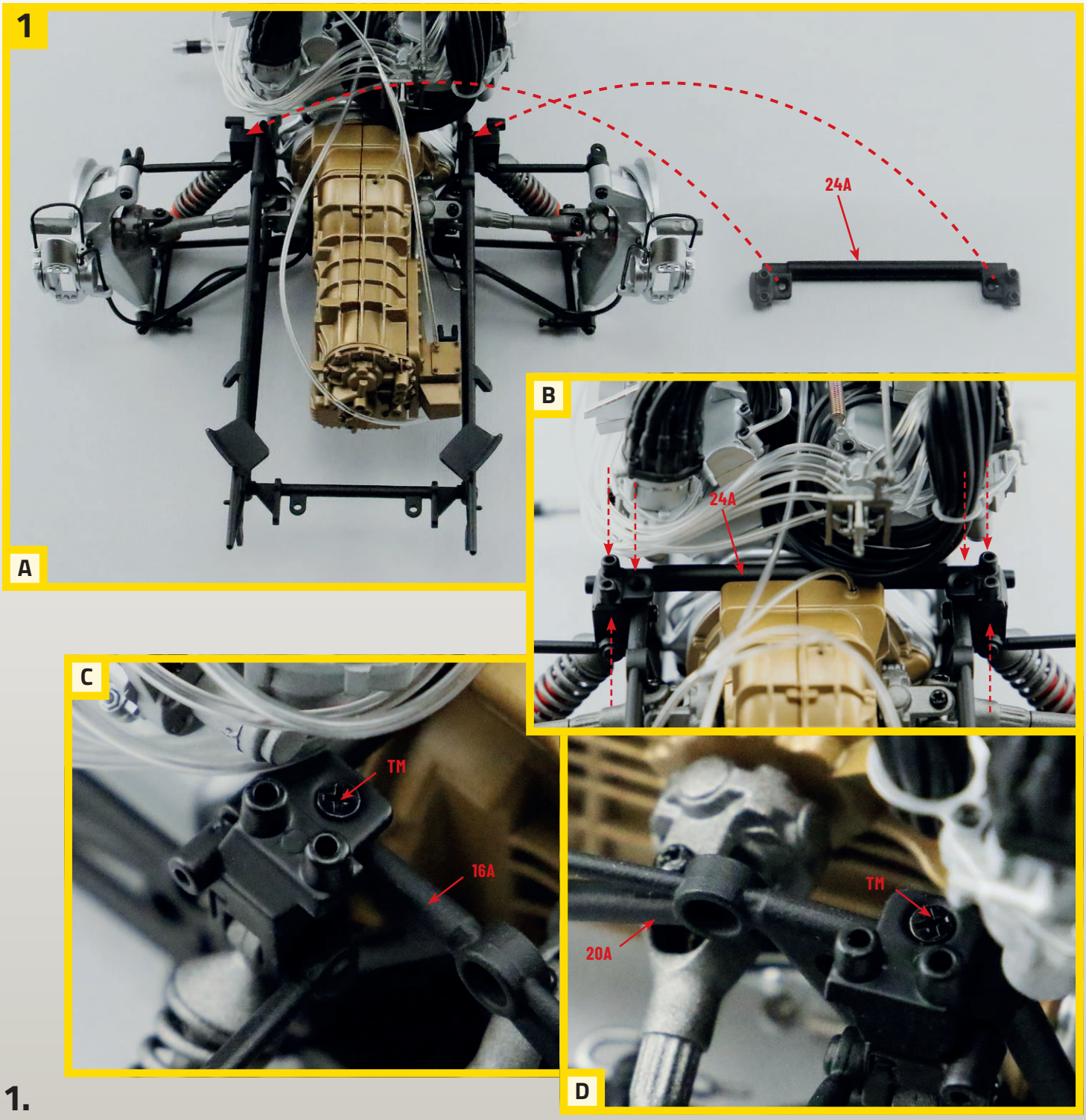
TM ネジ2本



注:「組み立てガイド」に掲載されているパーツの外観は、本シリーズで実際に付属するパーツとは細部が異なる場合があります。

※ネジの本数表記には、予備数は含まれておりません。

Ferrari 330 P4



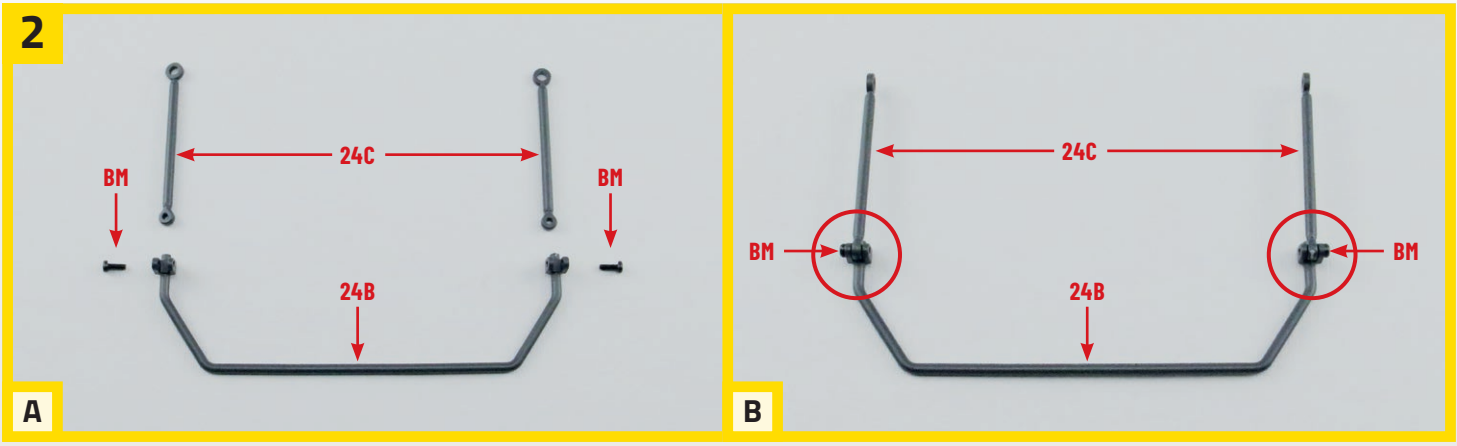
1.

A：ギアボックス･エンジンユニットを用意し、スタビライザーバーサポート**24A**を横に置く。

B：**24A**を写真のように配置し、両端を2つの後部サスペンションに載せ、写真のように向きを合わせる。

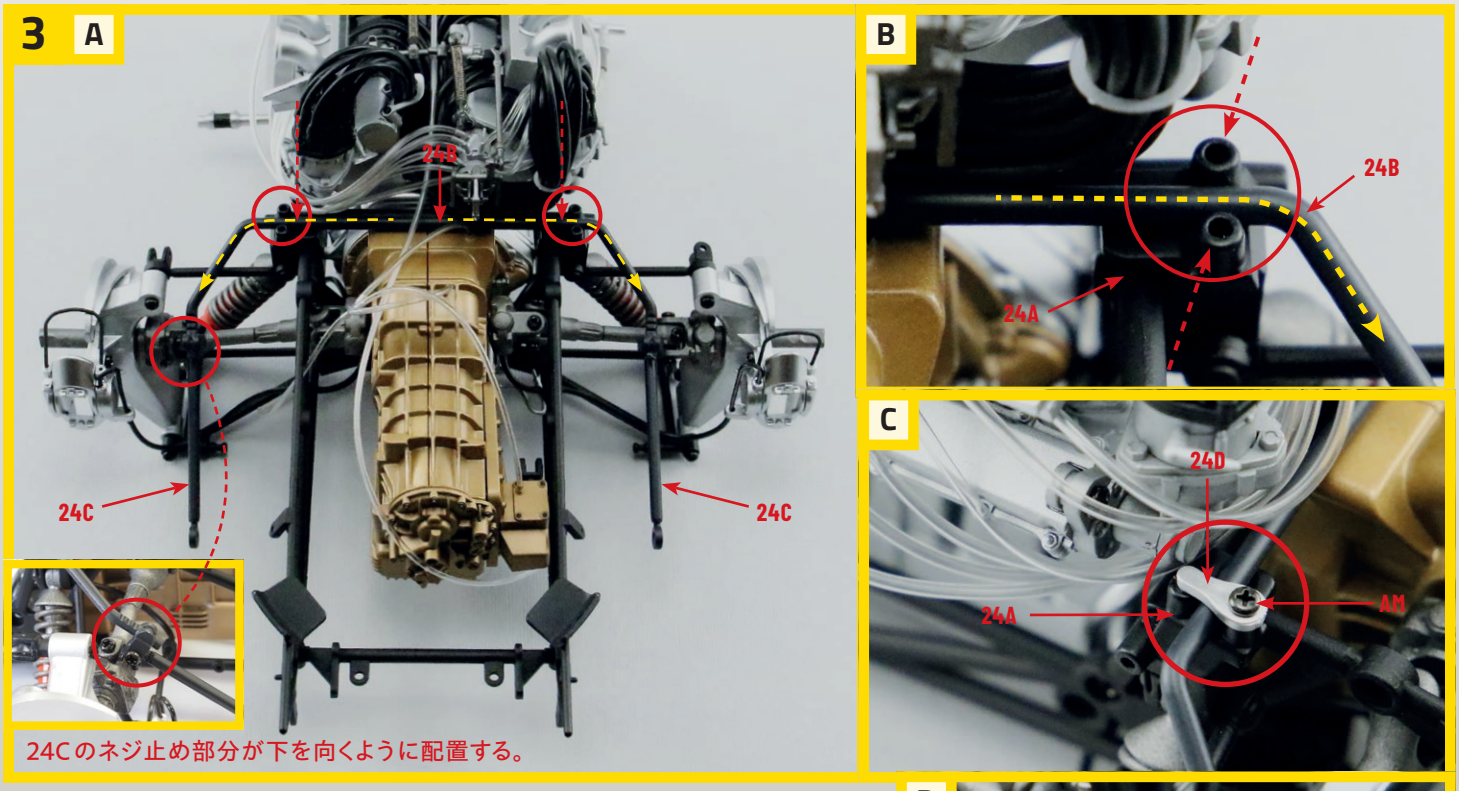
C：**16A**に**TM**ネジで固定する。　**D**：同様に、反対側も**20A**に**TM**ネジで固定する。





2. **A**：写真のように、スタビライザーバー**24B**と2本のスタビライザーバーリンク**24C**、2本のネジ**BM**を用意する。

B：2本の**24C**のうち、穴の小さい方を**24B**のフォークに差し込み、外側から2本のネジ**BM**を締める。



3. **A**：**24B**を**24A**に装着する。

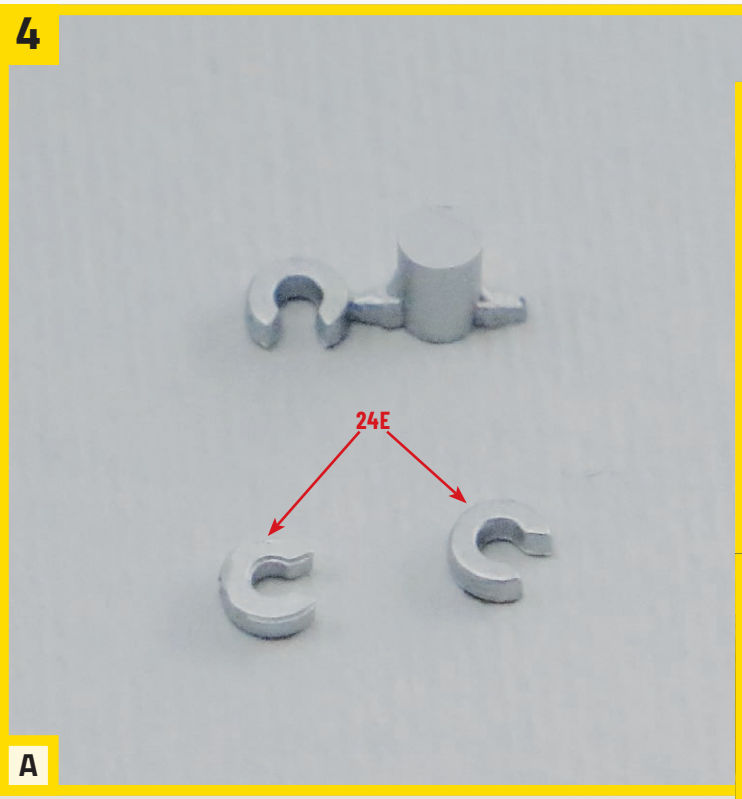
B：**24B**は、**24A**端にある2本の穴あき支柱の間を通し、**24C**がギアブロック･エンジンユニット後方に向くようにする。

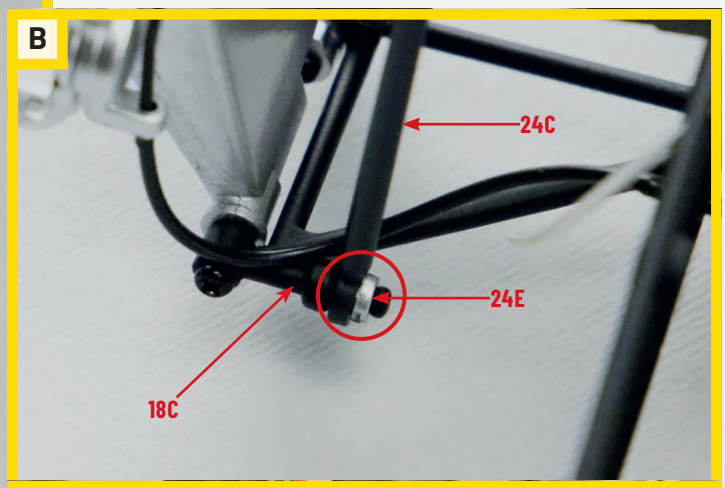
C：**24A**の穴あき支柱に2つの上部固定具**24D**を**AM**ネジで取り付ける。

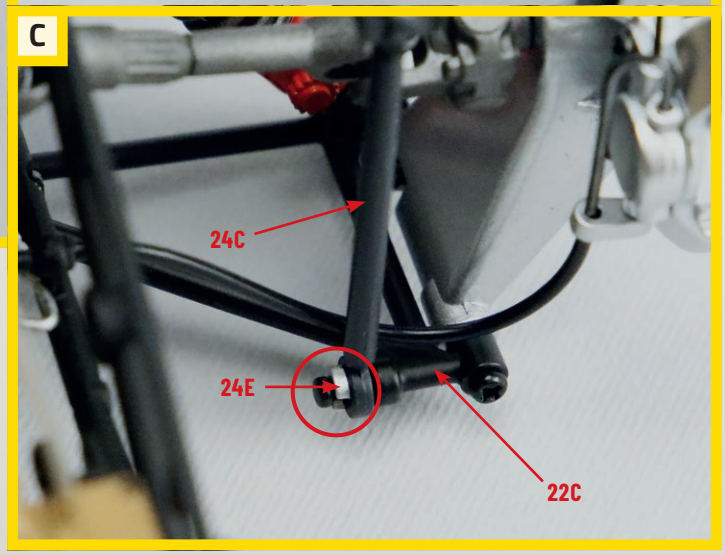
D：同様に、反対側にも**24D**を**AM**ネジで取り付ける。



4





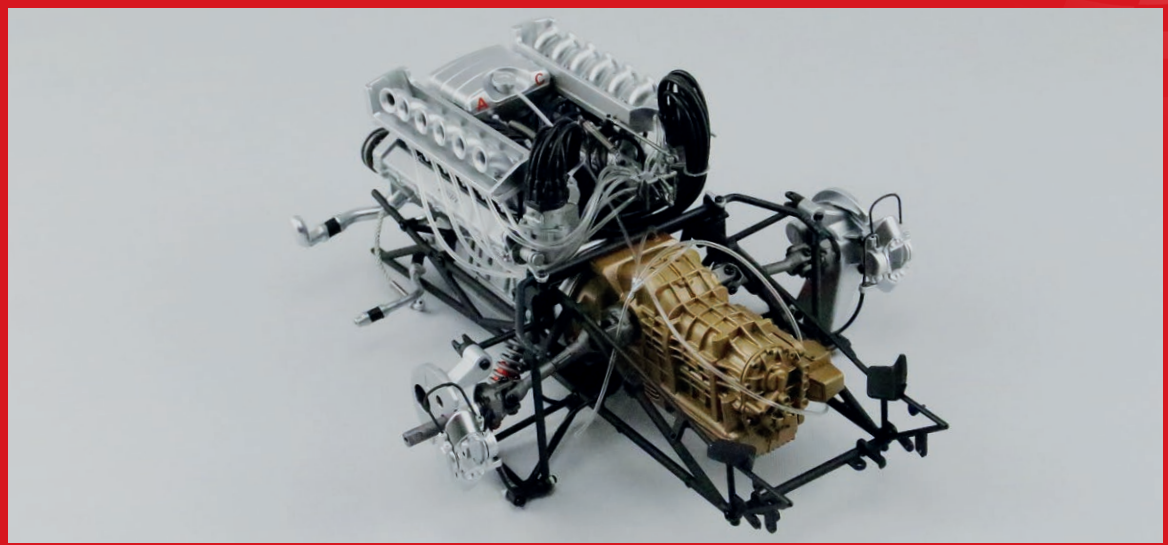


4. **A**：ニッパーかカッターナイフで、2つの下部固定クリップ**24E**をランナーから切り取る。

B：**24C**の幅の広い方の穴を、**18C**のピンにはめ込み、その外側に**24E**をはめ込む。

C：同様に、反対側の**22C**にも**24C**と**24E**を取り付ける。

組み立て結果

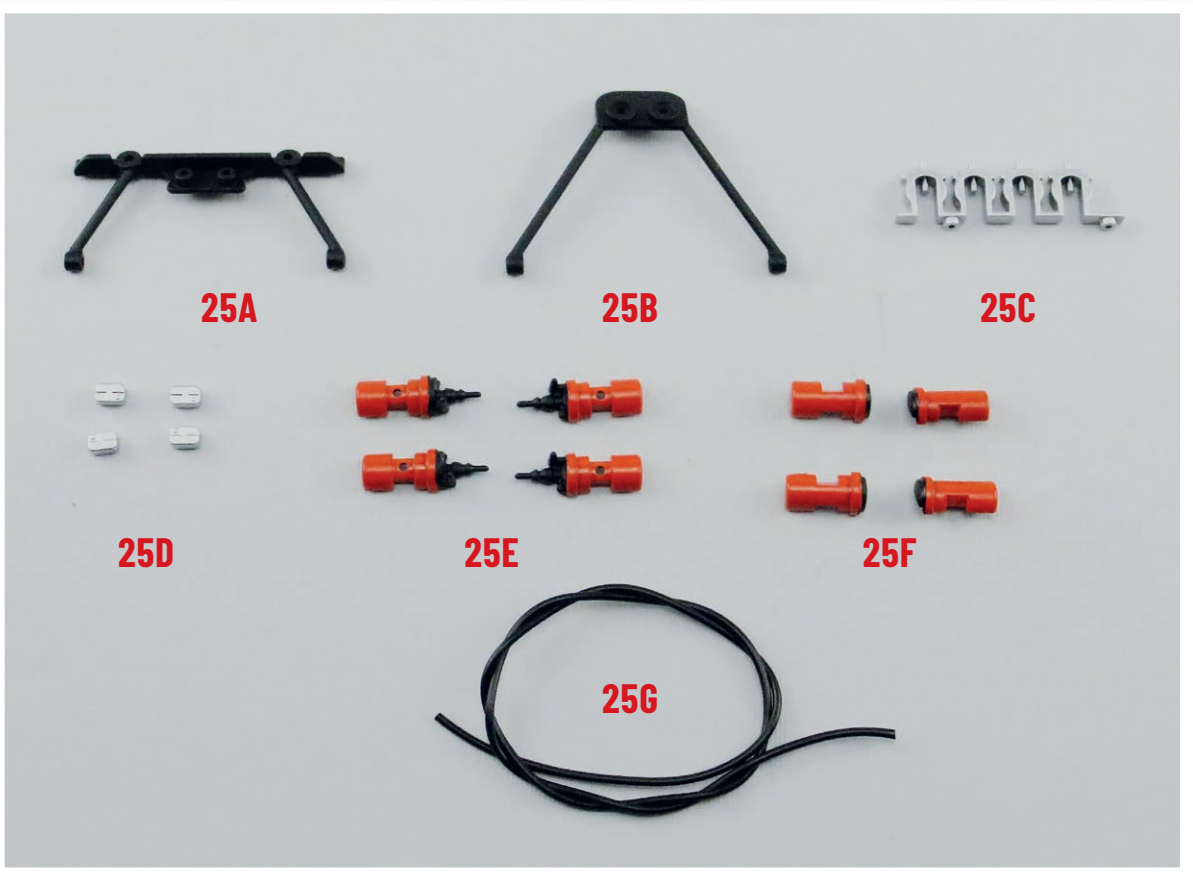


スタビライザーバーを備えたギアボックス·エンジンユニット。



STAGE 25

フレーム、配線、コイル本体



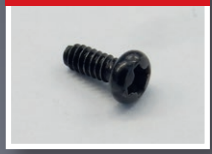
パーツリスト

25A コイルフレーム
25B コイルサブフレーム
25C コイルサポート
25D コイルパーツ
25E コイル本体パーツA
25F コイル本体パーツB
25G コイル配線用チューブ

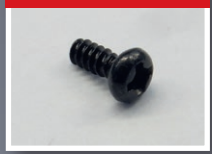
ネジ類

AM 1.7×4㎜ネジ6本(+予備)
AP 1.7×4㎜ネジ2本(+予備)

AM ネジ6本



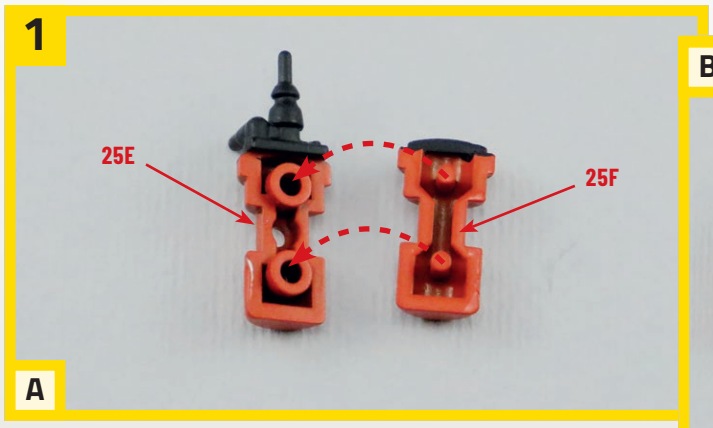
AP ネジ2本

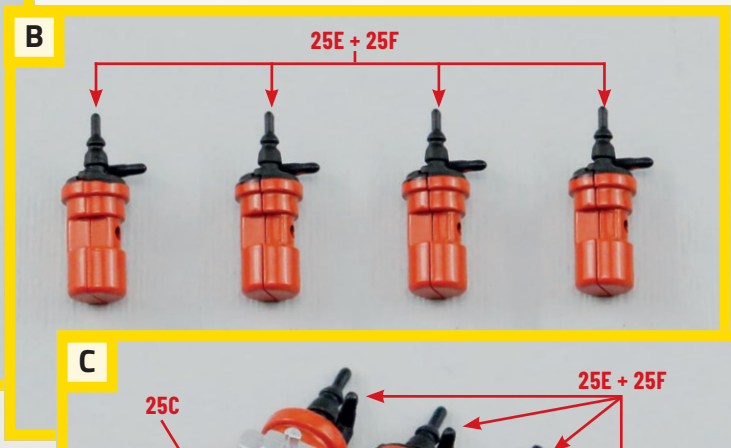


注:「組み立てガイド」に掲載されているパーツの外観は、本シリーズで実際に付属するパーツとは細部が異なる場合があります。

※ネジの本数表記には、予備数は含まれておりません。

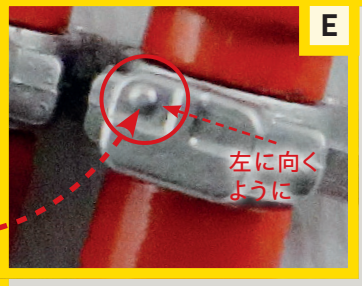
Ferrari 330 P4











1.

A：コイル本体パーツ**25E**と**25F**を4セット用意する。

B：互いに組み合わせ、4つのコイル本体を組み立てる。

C：**25E**と**25F**の4セットを**25C**のコイル本体収容スペースに、それぞれ押し込む。

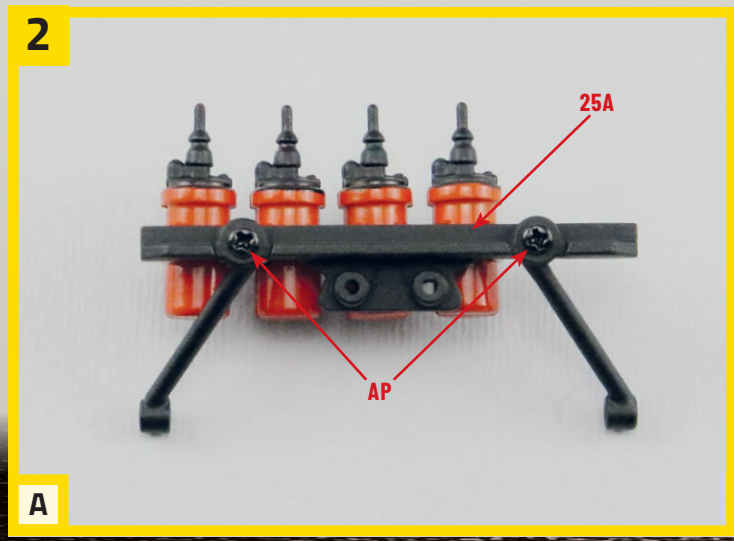
D：次に、4つのコイルパーツ**25D**を**25C**外側のピンに入れる。

E：丸い突起が左を向くように向きを合わせよう。

2.

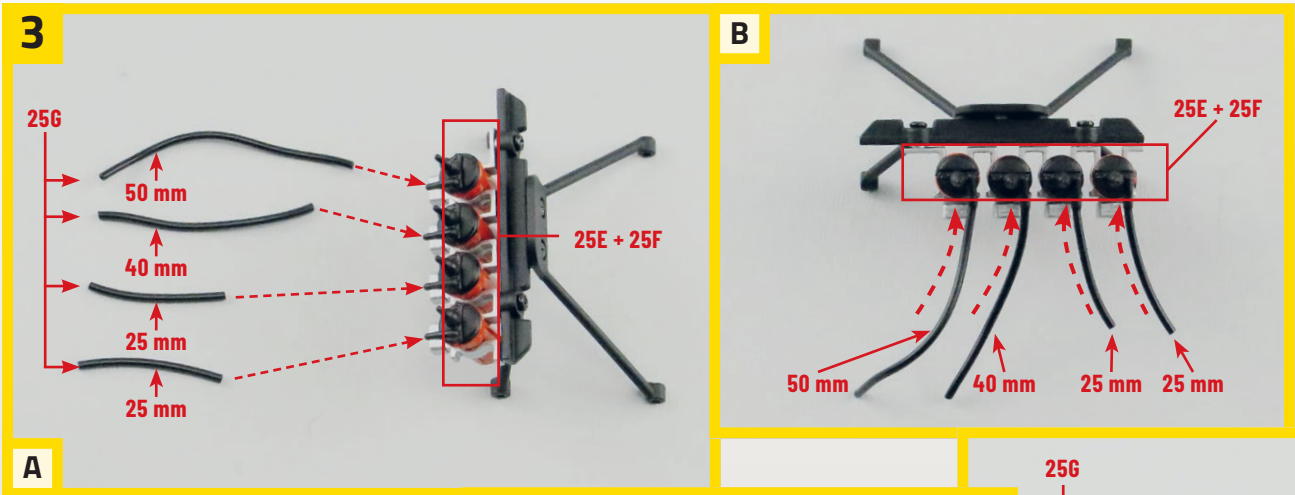
A：コイルフレーム**25A**を**25C**に合わせ、**AP**ネジ2本で固定する。

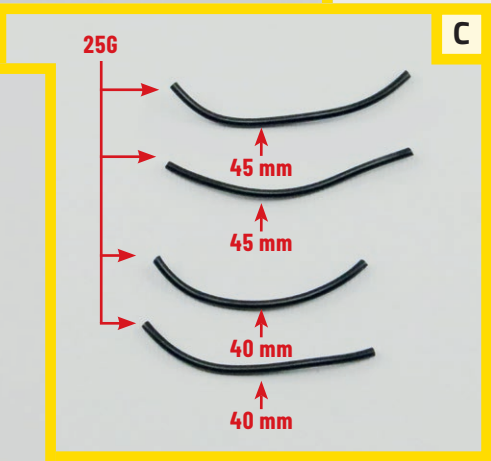
B：コイルサブフレーム**25B**を配置し、**AM**ネジ2本で**25A**に固定する。













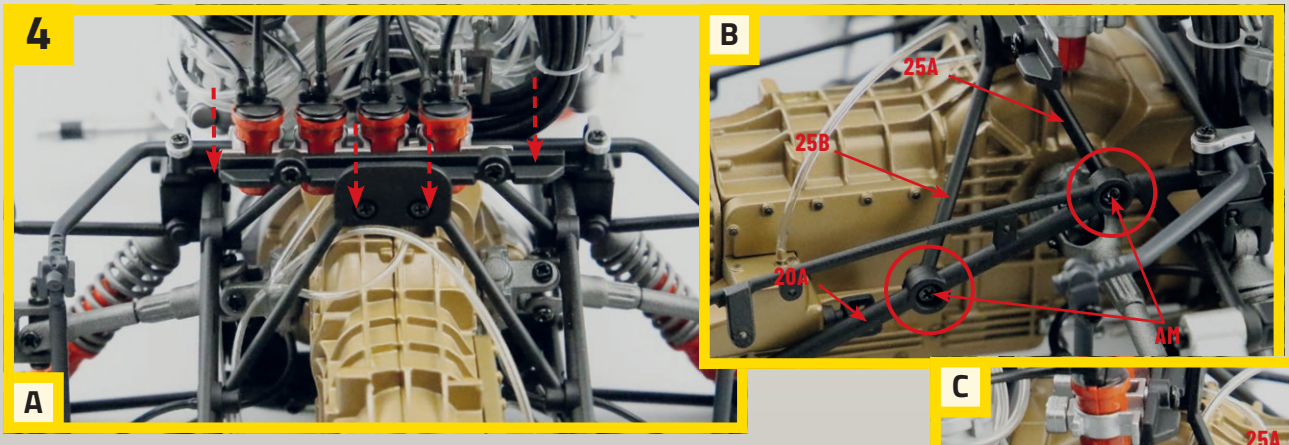
3.

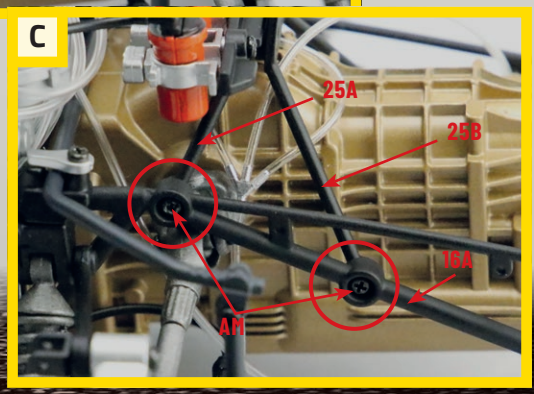
A：コイル配線用チューブ**25G**から指定の長さに4本切り出す。

B：4つの**25E+25F**の前面ピンに、写真のように取り付ける。

C：さらに、**25G**から指定の長さに4本切り出す。

D：写真で位置を確認しながら、それぞれのチューブを**25E+25F**の上部端子に取り付ける。

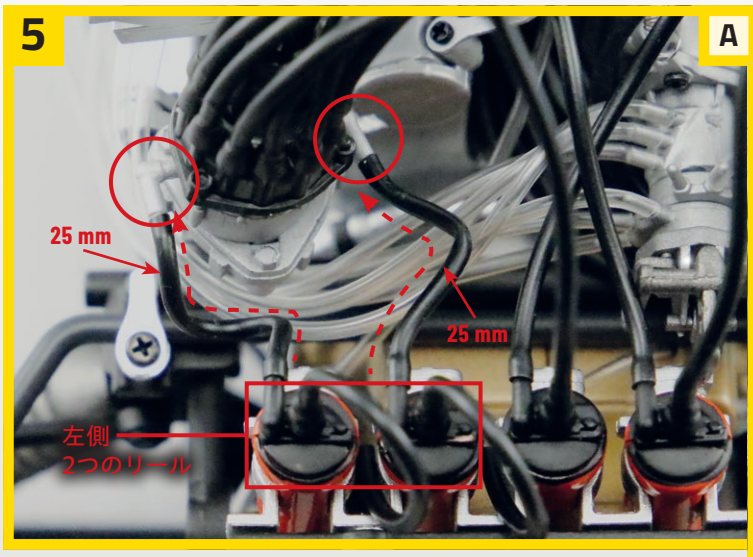


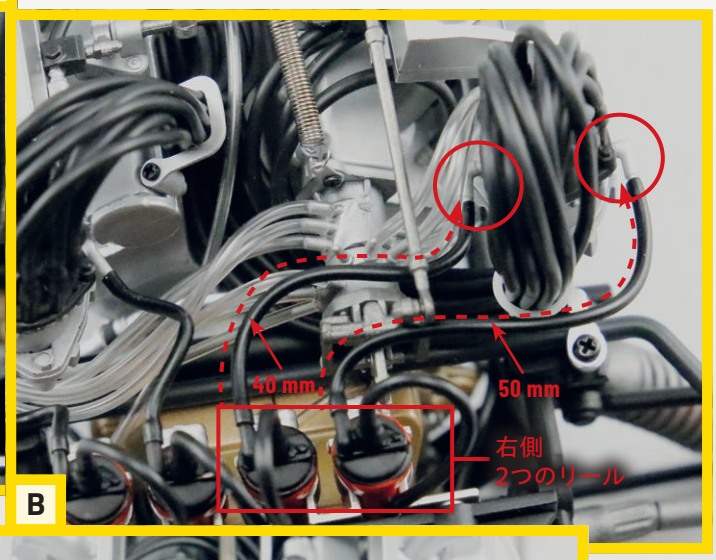


4. **A**：ギアボックス・エンジンユニットを用意し、**STEP3**で組みたてたコイルをトランスミッションの両側にまたがるように、向きを合わせて配置する。

B：**25A**と**25B**の両端を、**AM**ネジ2本で**20A**に固定する。

C：同様に、反対側の**16A**に**25A**と**25B**を**AM**ネジ2本で固定する。





5.

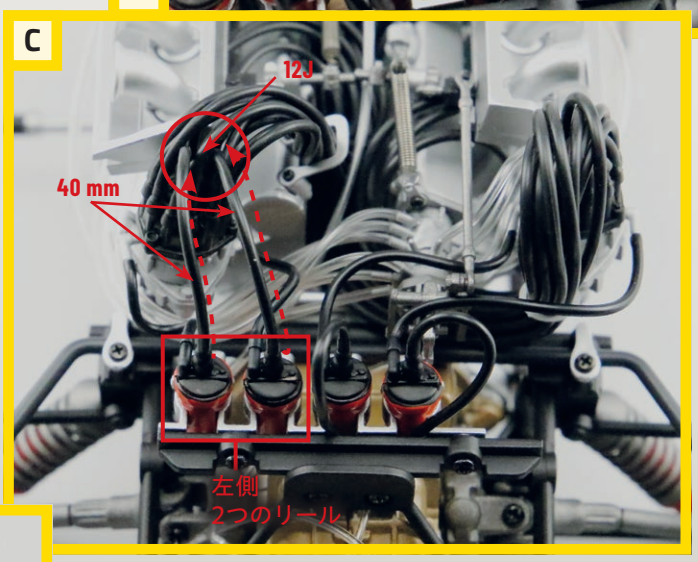
A：左側2つのコイルの25㎜ケーブルを、左ディストリビューターの2つの端子に接続する。

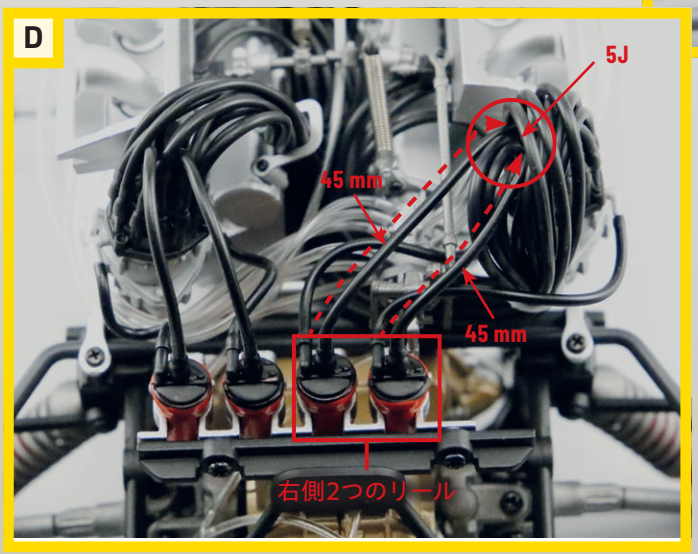
B：次に、右側2つのコイルの40㎜および50㎜のケーブルを右ディストリビューターの端子に接続する。

C：次に、左側2つのコイルの40㎜ケーブルを左ディストリビューター上部**12J**端子に接続する。

D：同様に、右側2つのコイルの45㎜ケーブルを右ディストリビューターの上部**5J**端子に接続する。

※外側コイルの上部ケーブルは外側に、内側コイルの上部ケーブルは内側に接続しよう。





組み立て結果

配線やコイルを取り付けたギアボックス･エンジンユニット。

